

ポータブルマイクロCDシステム

PMS-E3

取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

本機の交流電源はAC100V専用です。AC100V以外の交流電源で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

ご注意：

本機のCDトレイを開けたまま電源を切らないでください。トレイを開めるときは必ずOPEN/CLOSEキーで閉めてください、無理に閉めると故障の原因になります。

FM受信周波数について：

本機は海外でもFM放送が聴けるFMワイドバンド仕様になっています。そのため国内FMバンド(76~90 MHz)より高い周波数で、放送を受信する場合がありますが、これは故障ではありません。



B60-2358-08
96/8765432195/121110987

安全上のご注意

⚠ この頁は安全確保のために、必ずお読みください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただくために、次のような絵表示をしています。
内容をよく理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



これらの △ 記号は、警告または注意を促す内容があることを表しています。△ の中や近くに、具体的な注意内容を示しています。



これらの ⊘ 記号は、してはいけないことを表しています。⊘ の中や近くに、具体的な禁止内容を示しています。



これらの ● 記号は、しなければならないことを表しています。● の中や近くに、具体的な指示内容を示しています。

お客様、または第三者が、この製品の誤った取扱い、故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

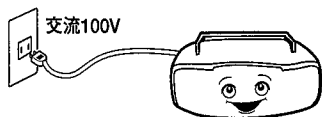
本製品の故障、誤動作または不具合による、テープやディスク等へ記録された内容の損害、および録音、再生など、お客様または第三者が製品利用の機会を逸したために発生した損害等、付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠ 警告



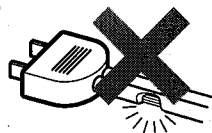
指定以外の電圧では使用しない

この機器で使用できる交流電圧は、100ボルトです。
《交流100ボルト以外の電圧で使用すると、火災、感電の原因になります》



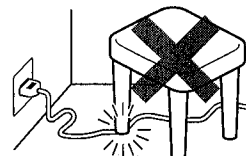
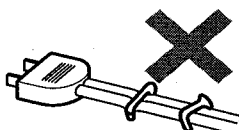
電源コードの取扱い

電源コードが傷ついたら（芯線の露出や断線など）使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》
• 修理をご依頼ください。



電源コードの配線に注意

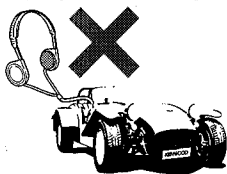
電源プラグをコンセントに接続するときは、次のことに十分ご注意ください。
• 電源コードの上に機器本体や、重いものを置かない。
• 電源コードをステーブルや釘などで固定しない。
• 足を引っ掛ける恐れがある配線をしない。
《コードが傷つき、火災や感電の原因になります》



警告

事故防止のために

自転車で乗りながら、または自動車、オートバイなどの運転中は、絶対にヘッドホンを使用しないでください。
《交通事故の原因になります》

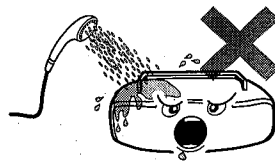


風呂場では使用しない

風呂場など、湿度の高いところや、水はねのある場所で使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》



水場での
使用禁止

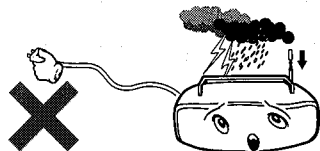


雷が鳴り始めたら

すぐにアンテナをたたんで使用を中止し、機器から離れてください。
《落雷の危険があります》
電源プラグには触れないでください。
《感電の危険があります》



接触禁止

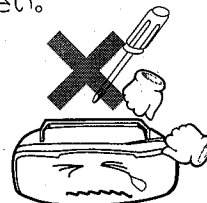


ケースを絶対に開けないでください

機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。
《火災や感電の危険があります》
•点検、修理は販売店またはケンウッド営業所へご依頼ください。



分解禁止

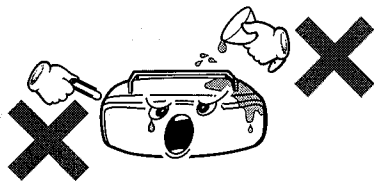


機器の内部に異物や水を入れない

内部に水や、異物が入った場合、機器の使用を中止してください。
《火災や感電の危険があります》
•電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
•電池を取り出してください。
•点検、修理をご依頼ください。



電源プラグを
コンセントから
抜け



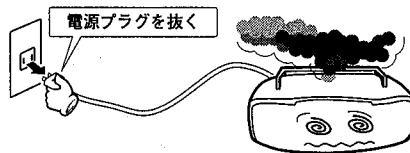
異常かな?と思ったら

煙が出たり、変な臭いや音がする場合、機器の使用を中止してください。
《火災や感電の危険があります》



電源プラグを
コンセントから
抜け

- 直ちに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 電池を取り出してください。
- 安全を確かめてから、修理をご依頼ください。

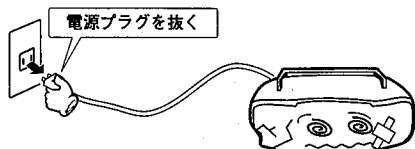


落下した機器は使わない

落としたり、カバーやケースがこわれた機器を、使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》
•電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
•電池を取り出してください。
•点検、修理をご依頼ください。



電源プラグを
コンセントから
抜け



電池の取扱い

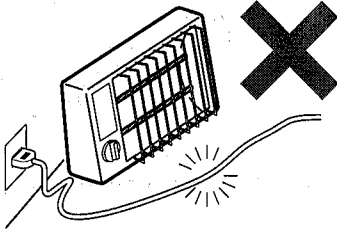
乾電池は、充電しないでください。
《電池の破裂、液漏れにより、火災や、けがの原因になります》



⚠ 注意

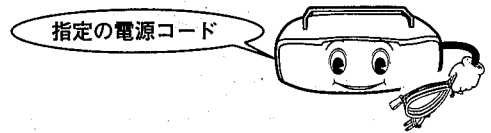
電源コードは熱器具の近くを避けて

電源コードを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近付けないでください。
《コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因になることがあります》



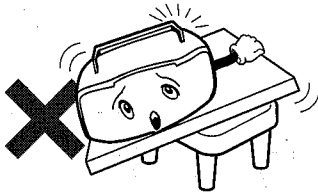
付属の電源コード以外は使わない

家庭用コンセントで使う場合には、必ず付属の電源コードをご使用ください。
《付属品以外の電源コードを使用すると、火災、感電の原因になることがあります》
• 付属の電源コードを紛失、または損傷した場合は販売店にご相談ください。



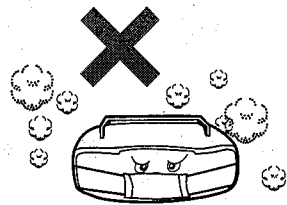
不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
《落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります》



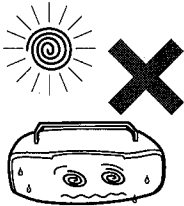
湿気やほこりのある場所には置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそばや、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
《火災や感電の原因になることがあります》



温度の高い場所には置かない

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
《本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります》

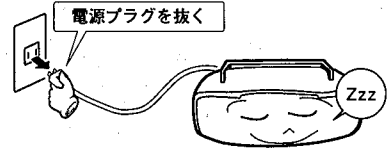


長期間使用しないときは

長期間、機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
《電源プラグをコンセントに接続したまま長期間放置すると火災の原因になることがあります》



電源プラグを
コンセントから
抜け

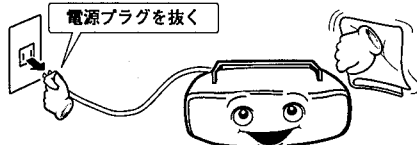


お手入れの際は

お手入れの際には、必ず電源プラグをコンセントから抜き、電池を取り出してください。
《電源プラグを接続したまま(電池が入ったまま)作業すると、感電の原因になることがあります》



電源プラグを
コンセントから
抜け

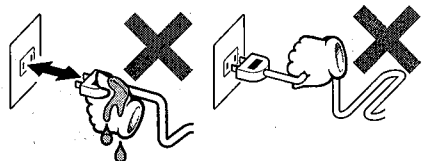


電源プラグの抜き差しは

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないください。《感電の原因になることがあります》



電源プラグを抜くときは、電源コード部を引っ張らないでください。
《コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります》



⚠ 注意

お子様にご注意

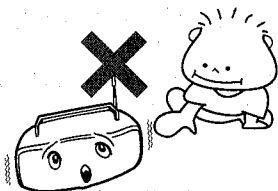


お子様が機器に乗ったりしないように、ご注意ください。
《機器がこわれて、けがの原因になることがあります》



指をはさまれないよう注意

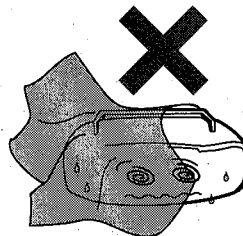
お子様がカセットテープやディスクの挿入口に手を入れないように、ご注意ください。
《けがの原因になることがあります》



放熱にご注意



本機を、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
《熱がこもり、ケースの変形や、火災の原因になることがあります》



音量に気をつけて



特にCDは雑音が少ないため、音楽の途切れたところで音量を上げがちになります。音量には十分ご注意ください。

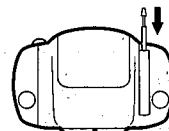
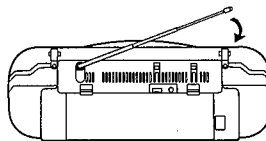


ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
《耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力障害の原因になることがあります》

持ち運びするときは



アンテナをたたんでください。
《伸ばしたまま持ち運びすると、アンテナが引っかけたり、当たったりなどしてけがの原因になることがあります》



電池の取扱い



電池や電池ケースは、金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピン等と一緒に携帯、保管しないでください。

《電池のプラス極とマイナス極のショートにより、電池の破裂や液漏れが発生し、火災やけがの原因になることがあります》



電池を加熱、分解したり、火中や水中に入れないでください。

《電池の破裂や液漏れが発生し、火災やけがの原因になることがあります》



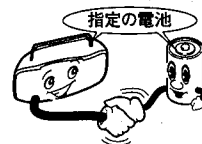
電池を機器内に挿入する場合、極性表示(プラス"+"とマイナス"-")の向き)に注意し、表示通りに入れてください。

《極性をまちがえると、電池の破裂や液漏れが発生し、火災、けが、または周囲を汚す原因になることがあります》



指定以外の電池を使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。

《電池の破裂や液漏れが発生し、火災、けが、または周囲を汚す原因になることがあります》



長期間使用しないときや、常時家庭用コンセントで使用する場合は、電池を取り出してください。

《電池を入れたまま長期間放置すると、液漏れが発生し、火災、けが、または周囲を汚す原因になることがあります》



液漏れが発生した場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。万一、漏れた液が身体に付着した場合は、水でよく洗い流してください。

《漏れた液が皮膚に付着したまま放置すると、やけどの原因になることがあります》

ご注意とおねがい

本機の設置とテレビについて(磁気の影響について)

1. 本機の設置のしかたによっては、テレビ画面に色ムラを生じる場合があります。そのときは、一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、本機を離してご使用ください。
2. 近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラが発生することがありますので、設置にご注意ください。
3. テレビからの電磁波の誘導作用により、ステレオの電源スイッチがOFFのときでも、スピーカーから音が聞こえることがあります。その場合も、テレビからスピーカーを離して設置してください。

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分にいたしましょう。特に静かな夜間には、小さい音量でも通りやすいものです。夜間のステレオ再生には、特に気をくばりましょう。窓を開めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心をくばり、快い環境を守りましょう。



音楽著作権について

あなたが録音または録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

露付きにご注意

水蒸気が、冷たいものの表面にふれて水滴が付くことを「露付き」といいます。この現象がおきますと、正常に動作しないか、または、まったく動作しないことがあります。これは故障ではありませんが、露がとれるまでしばらく乾燥させる必要があります。本機の電源を入れた状態で、そのまま放置してください。長くても数時間で露が乾いてきます。

次のような状態のときは、特に露付きにご注意ください。

- 寒いところから暖かい部屋など気温差の大きいところへ持ち込んだとき。
- 暖房をきかせはじめたとき。
- 冷房のよくきいた部屋から、湿度が高く気温の高い部屋へ持ち込んだとき。
- その他本機の温度と外気温との差が大きく、露付きの状態になりやすい条件のとき。

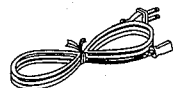
付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

リモートコントロール
ユニット(1個)

リモコン用単三乾電池
(2本)

電源コード(1本)





オートリバースWカセット

A、Bデッキの連続再生、高速ダビングがワンタッチ

- A、Bデッキともオートリバースデッキを採用、テープの両面を連続して再生したり、テープの両面を高速ダビングをすることができます。



カンタンCD編集録音

目的別に使える、いろいろな種類のCD編集録音を用意

- CDのワンタッチ録音 : 聴いていて気に入ったらワンタッチで録音
- 編集録音 : 指定時間内に曲が途切れないように録音
- プログラム編集録音 : 好きな曲を好きな順に録音



使って便利なDPSS

カセットテープなのに、CDのようにいろいろな再生を楽しめます。

- 曲を飛び越して聴く
- 同じ曲を何回も聴く
- 曲と曲の間を早送りして聴く



簡単操作のワンタッチオペレーション

- 入力切換キーや、CDのプレイキーを押すだけで電源が入り、演奏を開始します。



便利なタイマー機能

通常予約タイマーの他、次の便利な働きがあります。

- 通常タイマー : タイマーONと、OFFに時刻がそれぞれ設定できます。
- AI TIMER : タイマーONの後、徐々に音量が大きくなります。最大の音量をあらかじめ設定しておくことができます。
- 録音タイマー : タイマーで放送録音。
- スリープタイマー : おやすみのときに便利。

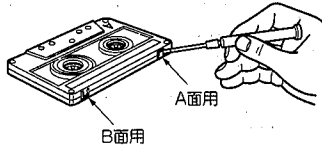
安全上のご注意	2
はじめに	6
メンテナンス	8
電源について	9
各部のなまえ	10
リモコンの使いかた	13
時刻合わせ	14
放送を聴く	15
放送を受信する	15
音量調整のしかた	15
ヘッドホンで聴くとき	15
放送局を記憶させる(プリセット)	16
放送局を自動でプリセットする	16
プリセット番号の途中から自動プリセットし直す	16
好きな番号に好きな順にプリセットする	17
記憶させた放送局を受信する	17
CDを聴く	18
繰り返し聴く/順番にこだわらずに聴く	19
曲順を自由にプログラムする	20
プログラムした曲を再生する	21
テープを聴く	23
テープを聴く準備	23
通常の再生/リレー再生	23
飛び越し選曲をするには	24
録音のしかた	25
通常の録音をする	25
テープをコピーする(ダビング)	26
CDの編集録音	27
ノーマルシンクロ録音	28
トラックシンクロ録音/プログラムシンクロ録音	29
編集録音(EDIT)をするには	30
CDのワンタッチ録音(O.T.EDIT)をするには	31
便利な使いかた	32
音質を変えてたのしむ	32
表示内容を切り換えるには	32
タイマーを使う	33
ON/OFF時刻の設定	34
タイマーで再生を始める	35
タイマーで放送を録音する	36
おやすみタイマー予約	36
故障と思われる症状ですが	37
定格	39
保証とアフターサービス(必ずお読みください)	40

メンテナンス

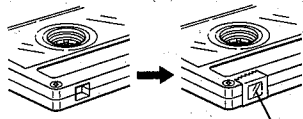
カセットテープについてのご注意

誤消去防止装置

大切な録音のあとには、カセットのツメを折ってください。
誤消去・誤録音が防げます。



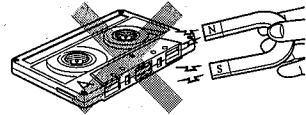
再び録音するには



折った所だけにテープをはる。

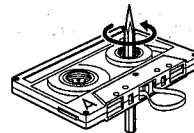
カセットテープの保管について

直射日光下や暖房器などのそばに放置しないでください。
また、磁石や磁気は近づけないでください。



テープがたるんでいる場合

このような場合には、リール軸に鉛筆などを差し込んで、テープのたるみをとってから装着してください。



1. 110分、120分や150分テープについて

110、120分または150分テープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れたりトラブルが発生しやすいので、ご使用はお避けください。



2. エンドレステープについて

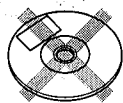
エンドレステープは故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

ディスク取扱上のご注意



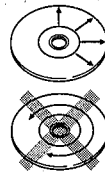
取り扱い

再生面にふれないように持ってください。



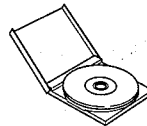
再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

テープ等をはがしたあとは、きれいに拭き取っておいてください。(シールの粘着剤が原因で、プレーヤー内部にディスクが引っ掛かる場合があります。レンタルディスクや中古ディスク等には注意が必要です。)



お手入れ

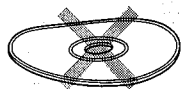
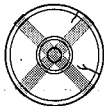
ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。



保存

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

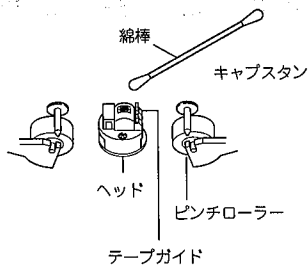
ディスク使用上のご注意



ひびやそりのあるディスクは使わない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。

ヘッドのお手入れ



ヘッド回りのクリーニング

いつまでも最良の状態でご使用になるには、テープ再生時間約10時間ごとに、ヘッド(録音/再生/消去)、キャプスタン、ピンチローラーのクリーニングを心がけてください。クリーニングは、次の手順で行ってください。

1. EJECT(イジェクト)ボタンを押し、カセットホルダーを開けます。
2. ヘッド(録音/再生/消去)、およびキャプスタン、ピンチローラーを、市販のクリーニング液を含ませた綿棒で注意深くクリーニングします。

ヘッドの消磁

録音・再生ヘッドが磁気を帯びると雑音が大きくなります。市販の消磁器(ヘッドイレーサー)で消磁してください。

ご注意

ヘッドのテープガイドなど、精密に調整された部分があります。クリーニングの際は、引っかけたり、強い衝撃などを加えないように注意してください。



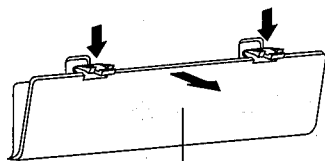
時計用乾電池(単三乾電池4本)の入れかた

電池で本体を使うときだけでなく、家庭用コンセントで使うときも、時計用乾電池を入れておきましょう。停電したときでも現在時刻や、記憶してある放送局などが保持されます。

時計用乾電池は本体の背面の電池ケースの奥に入れます。

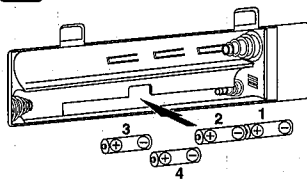
- 電池を交換するときはコンセントに電源コードを差し込んだ状態で交換してください。記憶している内容が保持されます。
- 時計用電池だけでは時計の表示はされません。

1 電池ぶたを開ける



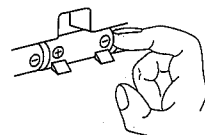
本体背面の電池ぶた

2 電池を入れる



切り欠きのある部分から番号順に入れます。

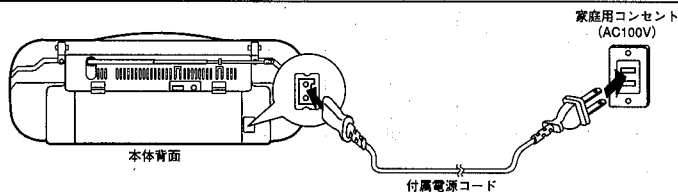
取り出すときは



切り欠きの部分の電池のマイナス側に指を入れて取り出します。

- 乾電池は付属しておりませんので市販品をお使いください。
- 時計用電池の寿命は、交流電源を接続していない場合、連続で10日間です。(常に時計表示させる場合は交流電源で使うことをお勧めします。)

家庭用コンセントで使うとき



電源コードを抜くときは

- 入力をCDに切り換えて下の表示が出ることを確かめてください。
- CDトレイがしまっていない場合はOPEN/CLOSEキーで閉めてからPOWERをOFFにして、電源コードを抜いてください。



ご注意 付属の電源コード以外は絶対に使わないでください。故障の原因になります。長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

NO DISC

乾電池で使うとき

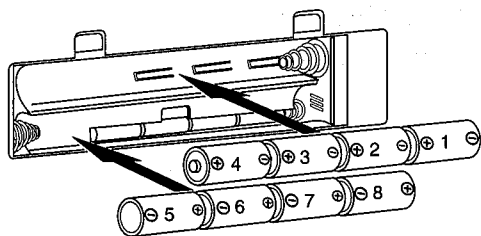
- 付属しておりませんので、市販品をお使いください。

1 電池ぶたを開ける

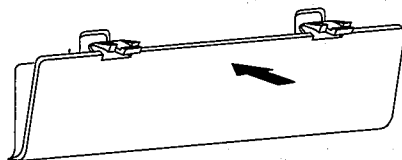
背面の電池ぶたを取り外します。

2 電池を入れる

単一乾電池8本を図のように番号順に入れます。



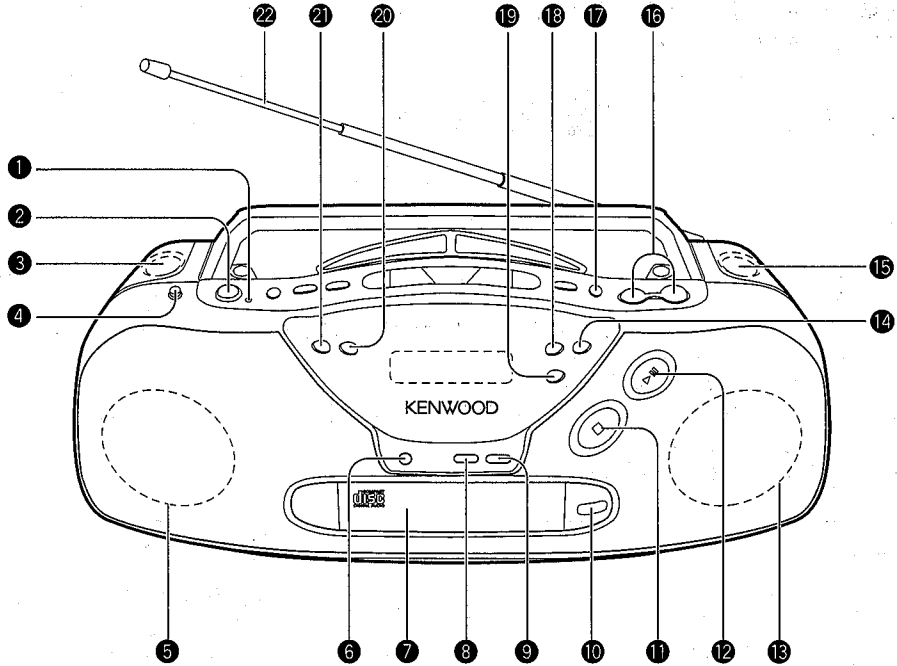
3 電池ぶたを閉める



乾電池が消耗してくると

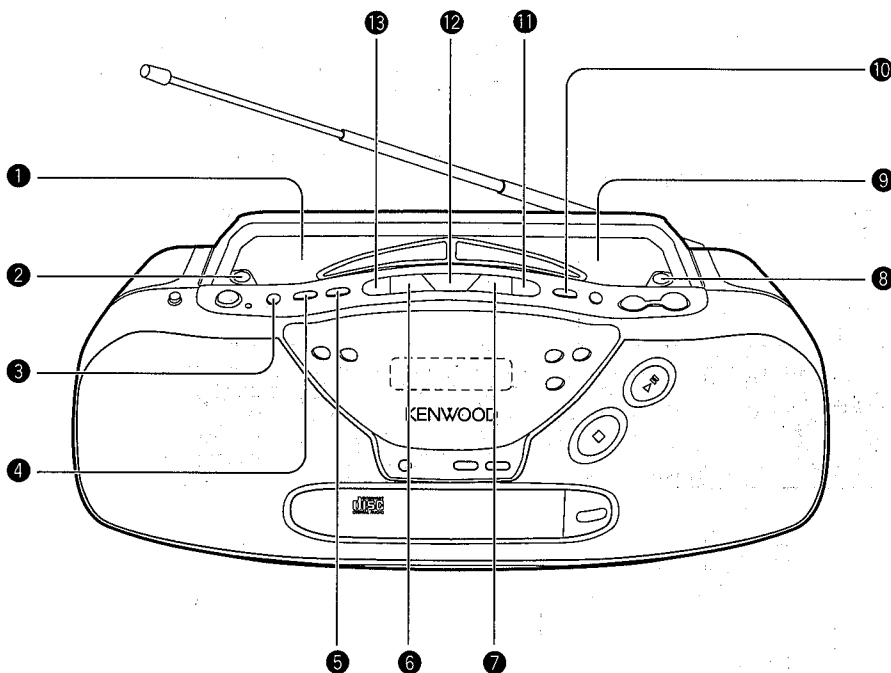
CDの音が飛んだり、テープの音がゆれたりし易くなります。そのようなときは動作用乾電池を8本とも全て新しい乾電池に交換してください。

アンプ/CD/チューナー部



- | | |
|--|------------------------------|
| ① 電源 ^{スタンバイ} STANDBYインジケータ
家庭用コンセントに電源コードが差し込んであるときは常に点灯しています。 | ⑫ ▷ □□ /CD選択キー |
| ② POWER(電源)キー | ⑬ 右側スピーカー |
| ③ S.サウンドスピーカー | ⑭ タイマーモード
TIMER MODEキー |
| ④ S.SOUND切り換えボタン | ⑮ S.サウンドスピーカー
ボリューム |
| ⑤ 左側スピーカー | ⑯ VOLUME(音量)キー |
| ⑥ REPEATキー | ⑰ SOUNDキー |
| ⑦ CDトレイ | ⑱ タイマーセット
TIMER SETキー |
| ⑧ ◀◀ /TUNING DOWNキー | ⑲ CLOCK SETキー |
| ⑨ ▶▶ /TUNING UPキー | ⑳ FM/AM(チューナー選択・FM/AM切り換え)キー |
| ⑩ OPEN/CLOSEキー | ㉑ A-PRESETキー |
| ⑪ □/P.CALLキー | ㉒ FM用ロッドアンテナ |

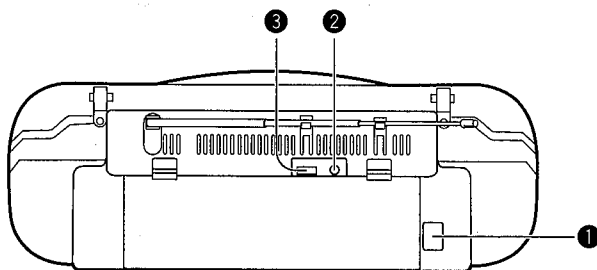
カセットテープ部



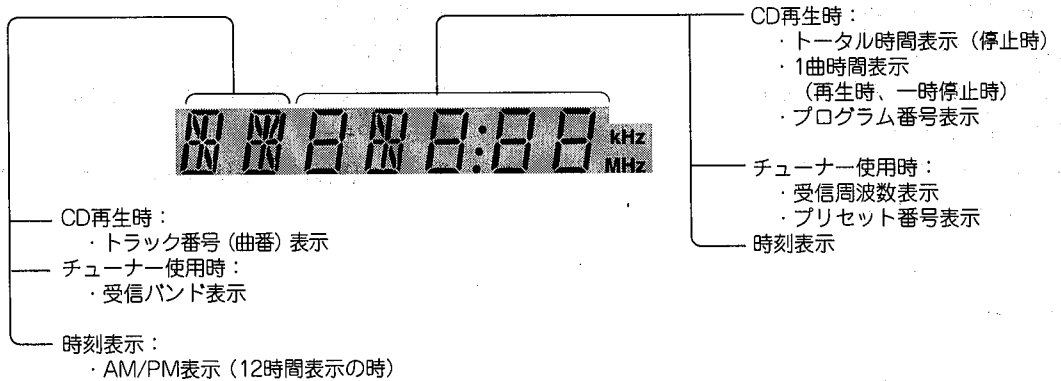
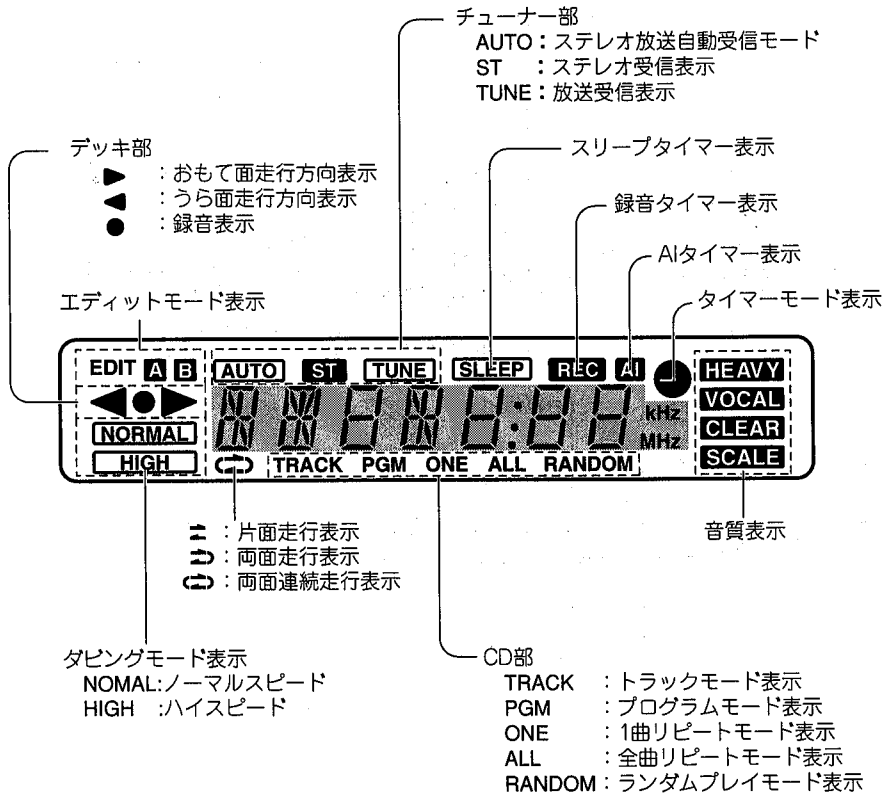
- | | |
|--|---|
| ① <small>デッキ</small> DECK Aカセットリッド | ⑧ <small>デッキ</small> DECK B EJECTボタン |
| ② <small>デッキ</small> DECK A EJECTボタン | ⑨ <small>デッキ</small> DECK Bカセットリッド |
| ③ <small>リバースモード</small> REVERSE MODE | ⑩ <small>ロックポーズ</small> REC/PAUSEキー |
| ④ <small>デッキモード</small> DECK MODE A/B切り換えキー | ⑪ $\triangleright\triangleright$ (おもて面の早送り/裏面の巻き戻し)キー |
| ⑤ <small>ロックモード</small> REC MODEキー | ⑫ <small>ストップ</small> STOPキー |
| ⑥ <small>プレイ</small> \triangleleft PLAY(リバースプレイ)キー | ⑬ $\triangleleft\triangleleft$ (裏面の早送り/おもて面の巻き戻し)キー |
| ⑦ <small>プレイ</small> \triangleright PLAY(フォワードプレイ)キー | |

背面部

- ① イン AC IN(AC100V用電源ソケット)
- ② ホーンズ PHONESジャック
- ③ ビートカット BEAT CUT切り換えスイッチ



表示部



リモコンの使いかた

電池の入れかた

1 カバーをはずす

• ㊦印の部分を押してスライドさせる。

2 電池を入れる

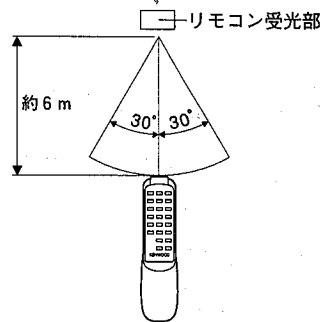
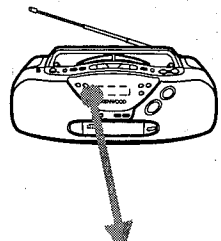
• 単3乾電池 (R6/SUM-3) 2個を極性マークに従って入れる。

3 カバーを閉める

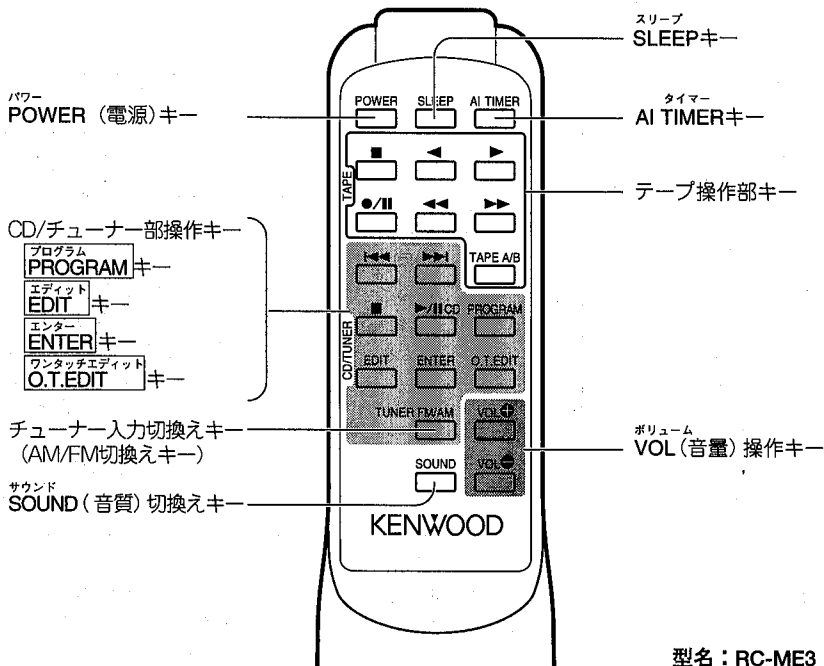
操作のしかたと各部のなまえ

本体の電源プラグをコンセントに差し込むか、または動作用乾電池を入れてください。リモコンのPOWERキーを押すと、電源がONになります。電源がONになったら、操作したいキーを押します。

- リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。



操作範囲のめやす



型名：RC-ME3
赤外線方式

□内は、リモコンのみのキーです。

ご注意



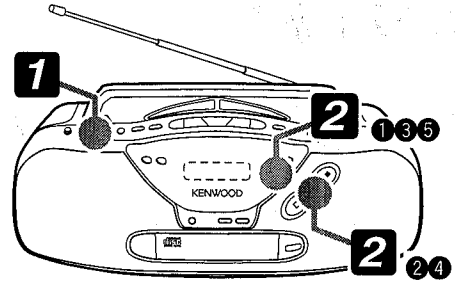
1. 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

時刻合わせ

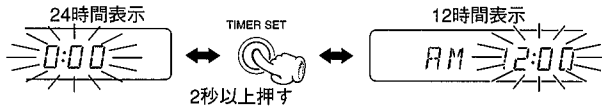
本機には、時計機能がついています。タイマーを使う前に必ず正確な時刻に合わせてください。

時計用電池をセットしていない場合で、停電があったり、電源プラグをコンセントから抜いたとき、表示が点滅して時刻が0:00にリセットされます。そのときは、時刻を合わせ直してください。

時計用電池は常に入れておきましょう。



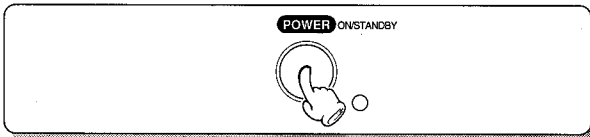
12時間表示に換えるときは



•はじめは24時間表示に設定されています。12時間表示に換えるときは下の手順で換えてください。

- ① 電源プラグを差し込む。
- ② POWERキー(電源キー)は“切り”のままにしておく。
- ③ TIMER SETキーを2秒以上押しつづける。(押しごとに12時間表示と、24時間表示が切り換わります。)

1 電源を入れる



2 現在時刻を合わせる

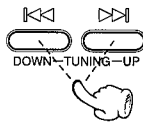
① CLOCK SET(クロックセット)キーを2秒以上押す

2秒以上押す

CLOCK SET



② “時”の桁を合わせる

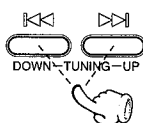


③ CLOCK SETキーを押す

CLOCK SET



④ “分”の桁を合わせる



⑤ CLOCK SETキーを押す

CLOCK SET

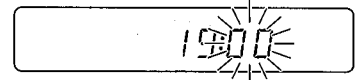


“時”の桁が点滅



- UPキーを1回押すと …… “1”時間繰り上がります。押しつづけると …… “時”がつづけて繰り上がります。
- DOWNキーを1回押すと …… “1”時間繰り下がります。押しつづけると …… “時”がつづけて繰り下がります。

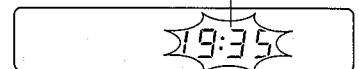
“分”の桁が点滅



- UPキーを1回押すと …… “1”分繰り上がります。押しつづけると …… “分”がつづけて繰り上がります。
- DOWNキーを1回押すと …… “1”分繰り下がります。押しつづけると …… “分”がつづけて繰り下がります。

•時刻が合ったらCLOCK SETキーを押します。

時刻が点灯に変わります





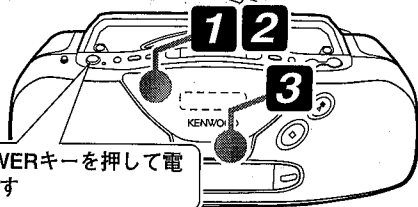
本機はAMステレオ対応です。スポーツ中継やドラマなどを臨場感あふれる音声で楽しむことができます。

AMステレオ放送の番組は、新聞、雑誌等のラジオ番組表でお確かめください。

FM放送を受信するときはロッドアンテナを伸ばし、放送の受けやすい向きに調節してください。

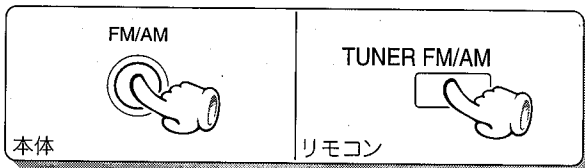
FM放送を聴くときはアンテナを伸ばして回転させる。

最初にPOWERキーを押して電源をいれます



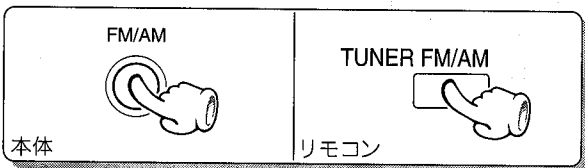
放送を受信する

1 “チューナー”を選ぶ



- FM/AMキーを1回押します。すでにチューナー(ラジオ)に切り換わっているときはFM/AMバンドの切り換えになります。

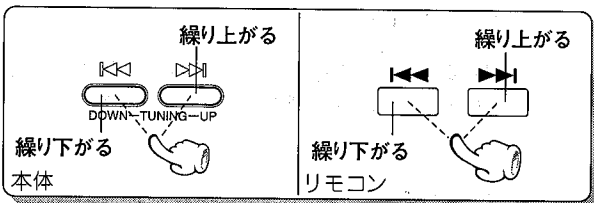
2 AMまたはFMのバンドを選ぶ



- FM/AMキーを1回押すたびに次のように切り換わります。

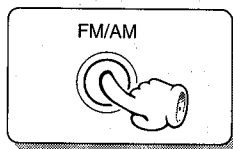
- ▶ ① FM
- ▶ ② AM

3 放送局を選ぶ



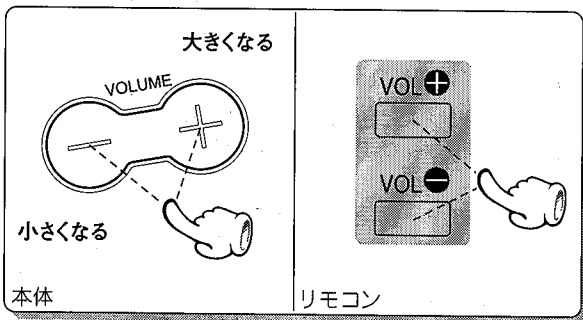
- キーを1秒以上押しと ⇨ オート選局
自動的に放送局を受信して止まります。押すたびに次の放送局を受信します。
- キーを1回ずつ押しと ⇨ マニュアル選局
周波数が1ステップずつ変わります。受信するまで繰り返し押します。

電波が弱く受信しにくいときはマニュアル選局にします。また、ステレオ放送で、雑音が多くなるときは、FM/AMキーを1秒以上押し続けてモノラル受信にすると聞き易くなります。



- 1秒以上押すたびに切り換わります。
- ▶ ① ステレオ自動受信(AUTO)
- ▶ ② モノラル受信(MONO)

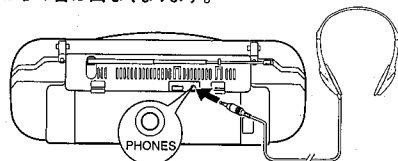
音量調整のしかた



ヘッドホンで聴くとき

ヘッドホンのジャックを本体背面のPHONESジャックに差し込みます。

- ステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。
- スピーカーからの音は出なくなります。





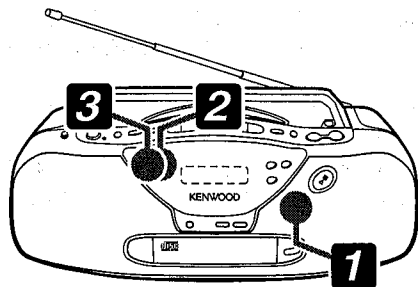
放送局を記憶させる(プリセット)

16

最大20局までの放送局に、番号を付けて記憶させておくことができます。これをプリセットといいます。プリセットしておく、次からは番号を指定するだけで、受信できるようになります。 → 17

準備をしましょう

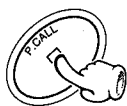
① 放送を受信する、 → 15



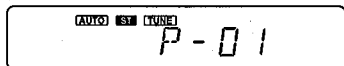
放送局を自動でプリセットする(本体のみ)

放送を聴く

1 プリセット番号“1”を呼び出す



• 始めにP.CALLキー(CDの口キー)を押してプリセット番号“1”を表示させます。



2 AM/FMのどちらかを選ぶ



• 押すたびに切り換わります。

- ① AM
- ② FM

3 A-PRESET キーを1秒以上押す

1秒以上押す



• 受信しているバンド(AM/FM)の中で自動的に20局まで記憶してプリセットを完了します。



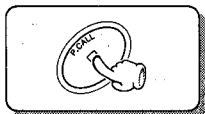
放送局以外で、外部雑音の強い周波数を記憶することがあります。そのときは手動でプリセットし直してください。

→ 17

プリセット番号の途中から自動プリセットし直す(本体のみ)

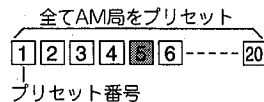
AM局を自動プリセットで20局プリセットした後、途中の番号からFM局をプリセットしたりすることができます。下の(例)はプリセット番号1~4まではAMを残してプリセット番号5からFM局をプリセットするときの例です。

1 変更したいプリセット番号を呼び出す

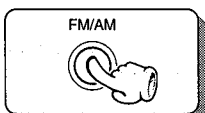


(例) AM局を自動でプリセットした後...

① プリセット番号“5”番を呼び出す。



2 AM/FMのどちらかを選ぶ



② FMバンドに切り換える

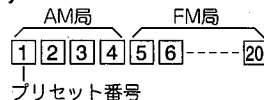
• バンドを切り換えたときは、プリセット番号の表示が一時消えますが、内部で記憶されています。

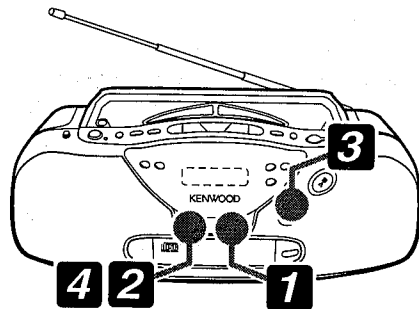
3 A-PRESET キーを1秒以上押す



③ A-PRESETキーを1秒以上押す

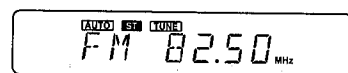
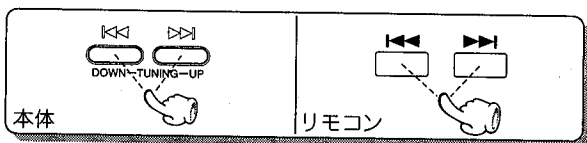
• 5番以降がFM局に変更されて記憶されます。



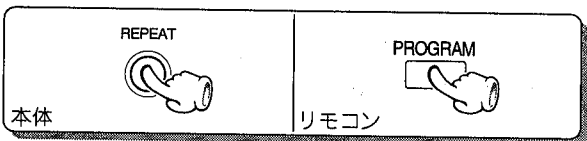


好きな番号に好きな順にプリセットする

1 放送局を受信する



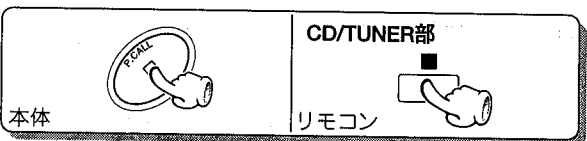
2 REPEATキーまたはPROGRAMキーを押す



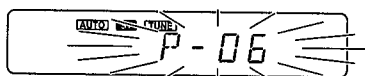
- プリセット番号が点滅します。



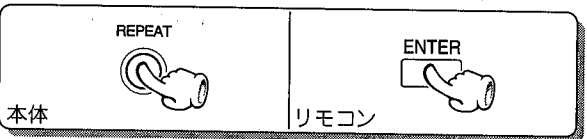
3 プリセットしたい番号を呼び出す



- プリセットしたい番号が出るまでくり返し押します。



4 REPEATキーまたはENTERキーを押す

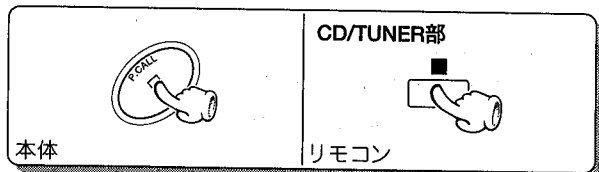


プリセット番号が点滅中にキーを押します。

- つづけてプリセットをするときは、手順 **1** ~ **4** を繰り返します。
- 同じ番号に重ねて記憶させると、新しい記憶内容に変更されます。

記憶させた放送局を受信する

P.CALLキーを押す



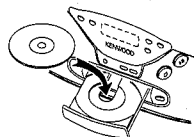
- キーを押すたびに、記憶されている放送局が順に切り替わります。



CDを聴く

18

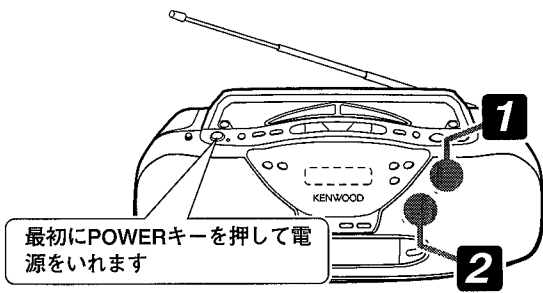
準備をしましょう



① OPEN/CLOSEキーを押してトレイを開ける。



② CDをセットする。
③ OPEN/CLOSEキーを押してトレイを閉める。



1 再生を始めるには



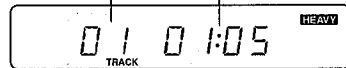
本体



リモコン

▶|| (プレイ/ポーズ)キーを押すと入力CDに切り換わり、再生が始まります。

再生中の曲番
再生中の曲の経過時間



一時停止するときはもう一度▶||キーを押します。

音量調整のしかた → 15

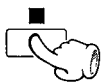
CDを聴く

2 再生を止めるとき(停止)



本体

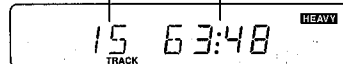
CD/TUNER部



リモコン

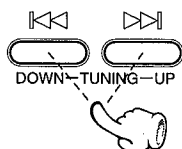
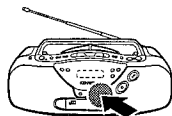
●再生中または一時停止中に□キーを押すと停止します。

総曲数
総時間

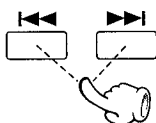


ディスクの総曲数と総時間表示

聴きたい部分を選ぶ



本体



リモコン

サーチ(早送り、早戻し)

●再生中にキーを押しつづけると早送り、早戻しになります。

スキップ(飛び越し選曲)

●再生中に▶▶キーを1回押すごとに先の曲の先頭に進みます。

●再生中に◀◀キーを1回押すとその曲の最初に戻ります。

2回以上押すと、押すごとに前の曲に戻ります。

停止中に操作したときは

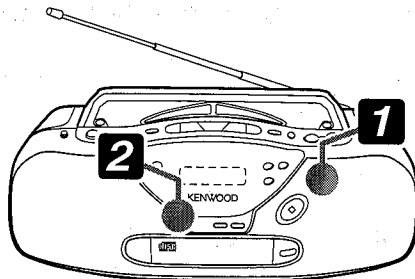
▶▶キーを押すと1曲目の再生を始めます。

◀◀キーを押すと最終曲の再生を始めます。

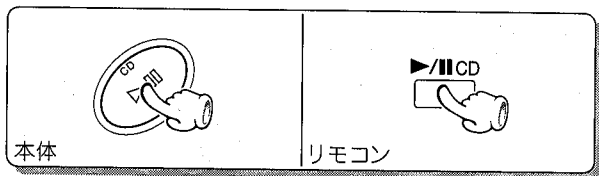
繰り返し聴く／順番にこだわらずに聴く



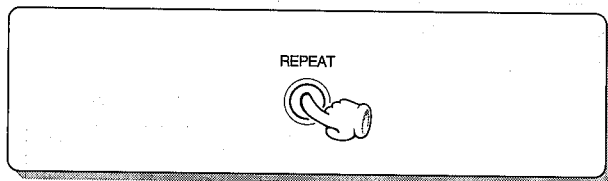
1枚のディスクや、セットしてある全部のディスクをくり返し聴いたり、または、順番にこだわらず順番不同に聴くことができます。
くり返し再生することをリピートプレイ
順番不同に再生することをランダムプレイといいます。



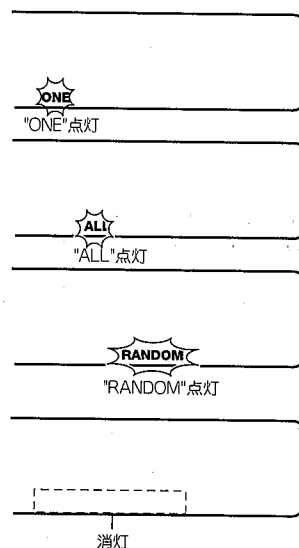
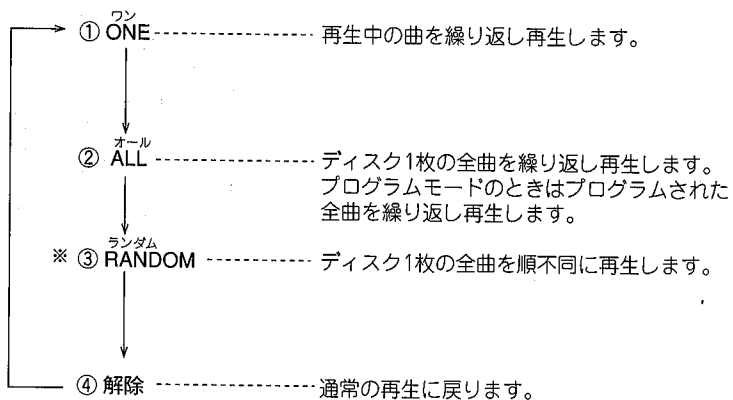
1 CDの演奏をする



2 REPEATキーを繰り返し押す(本体のみ)



• REPEATキーを押すたびに切り換わります。



※プログラムモードのときは、ランダムプレイはできません。



曲順を自由にプログラムする

1枚のディスクの中から、好きな曲を好きな順番で(最大20曲)プログラムできます。

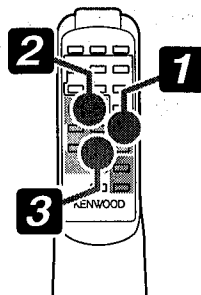
20

準備しましょう

→ 18

- トレイを開ける。
- ディスクを入れる。
- トレイを閉める。

再生が始まったら□キーを押して停止させます。



曲をプログラムする (リモコンのみ)

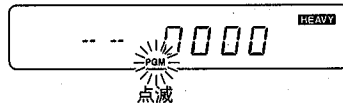
プログラム

1 PROGRAMキーを押す

停止中に

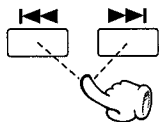


- 停止中にPROGRAMキーを押すと“PGM”の表示が点滅します。
- “PGM”が点灯または点滅している状態をプログラムモードといっています。

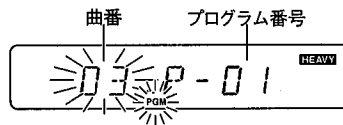


CDを聴く

2 登録したい曲番を選ぶ



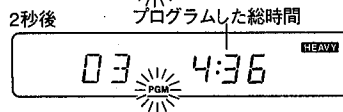
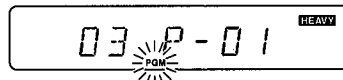
- ▶▶キーを押すごとに曲番が1番ずつ繰り上がります。
- ◀◀キーを押すごとに曲番が1番ずつ繰り下がります。



3 登録をする (ENTERキーを押す)

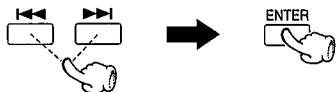


- 入力したい曲番を選んだあと、ENTERキーをおします。



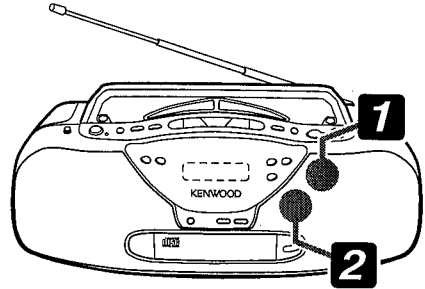
4 繰り返し入力する

登録する数だけ 2~3 の操作を繰り返す



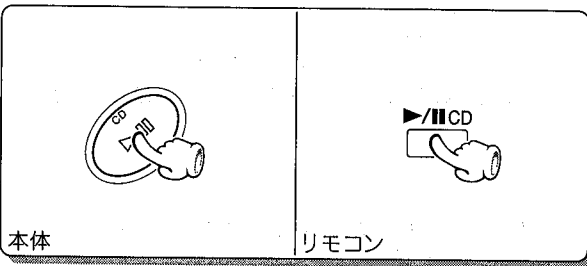
- 20曲まで選べます。21曲になると、“FULL”と表示して、プログラム追加モードは解除されます。
- 間違えたときはリモコンのCD部の■キーを押してから、選ひ直してください。
- 曲番の“31”以上の曲をプログラムした場合は、時間表示がされません。
- ディスクに無い曲番は、選ばません。





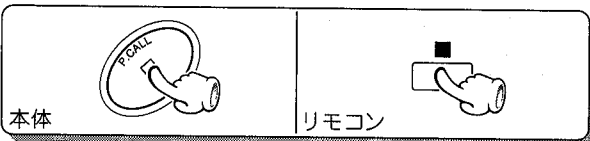
プログラムした曲を再生する

1 プログラム再生を始める



- 選んだ順 (P-番号順) に再生します。
- 再生中に、◀◀ または ▶▶ キーを押すと、プログラムされた曲順に押した方向へ飛び越します。

2 再生を止めるには

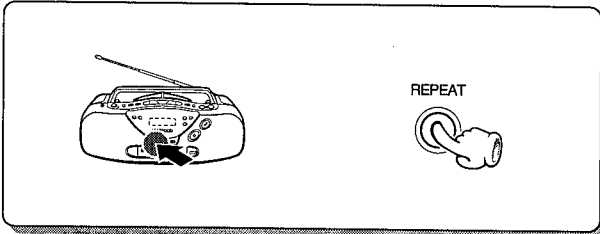


- ■キーを押すとプログラムは記憶されたままストップします。

ご注意 もう一度 ■キーを押すとプログラムされた曲が取り消されてしまいますので、ご注意ください。



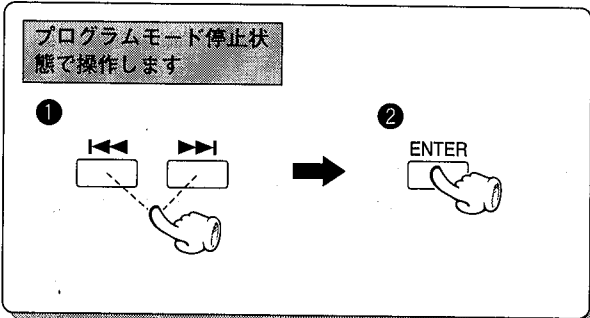
プログラムを繰り返し聴く (本体のみ)



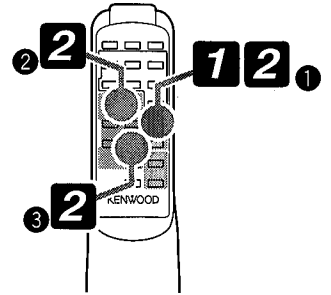
- リピートキーを押すごとに下ののように切り換わります。→

- ▶ ① ONE (1曲リピート)
- ▶ ② ALL (プログラム全曲リピート)
- ▶ ③ リピート解除

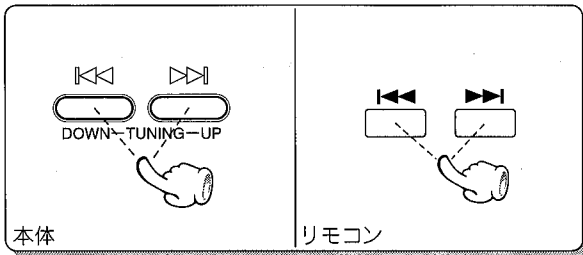
プログラム曲を追加するには



- ① 追加したい曲番を選びます。
- ② ENTERキーを押します。
 - 追加した曲は、プログラムの最後に追加されます。



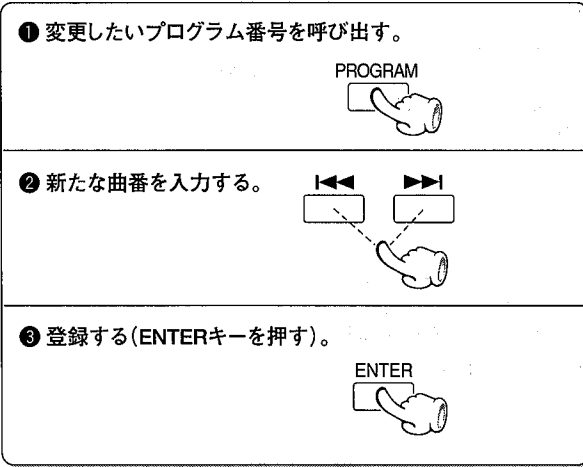
1 プログラムした曲を確かめるには



プログラム再生中に

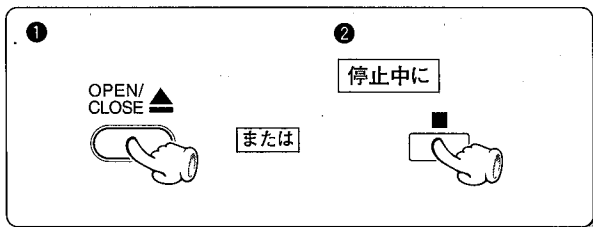
- プログラム再生中に「<<」キーや「>>」キーを押すとプログラムした順に前後の曲に飛び越してプログラム内容を確認することができます。
- プログラム再生中にPROGRAMキーを押すとプログラムは解除され通常の再生(トラックモード)になります。

2 プログラムした曲を変更するには(リモコンのみ)



プログラムモードでストップしている状態で操作します

プログラムの全部を取り消すときは



- プログラムの全部を取り消すときは、次のどれかの操作をします。
- ① 本体のOPEN/CLOSEキーを押す。
- ② プログラム停止中に停止キー(□キーまたはリモコンCD部■キー)を押す。



テープを聴く準備

カセットテープの入れかた

- ▲ ボタンを押しカセットホルダーを開ける。
- テープをセットする。
• テープの見える厚い方を手前にしてキチッとセットします。
- カセットホルダーを押し閉める。

- 再生はA,Bどちらのテープデッキでもできます。
- テープはたるみのない状態にしてください。
- ドアは、確実に閉めてください。

カセットテープの取り出し

- ▲ ボタンを押しカセットホルダーを開ける。
- テープを手で取り出す。
- カセットぶたを押し閉める。

リバースモードを選ぶ

REVERSE MODE

• 押すたびに切り替わります

- ① "≡" .. 片面のみを再生して止まる
- ② "⇄" 両面を再生して止まる
(< キーを押したときは、うら面だけを再生して止ります。)
- ③ "∞" ... エンドレス再生をする

通常の再生/リレー再生

再生をはじめるには

本体

リモコン

- テープの入っているデッキを自動的に判断して再生を始めます。
- 両方のデッキにテープが入っているときはDECK MODE (デッキモード) ABキーでデッキを選んでからPLAY (プレイ) キーを押します。

DECK MODE A/B

リレー再生をするとき

- 両方のデッキにテープを入れ、リバースモードを"⇄"にすると、片方のテープの両面を再生したあと、もう一方のテープの両面を再生します。
- STOP (ストップ) キーを押すまで繰り返し再生します。

REVERSE MODE

再生を止めるには

本体

リモコン

早送り・早戻しするには

本体

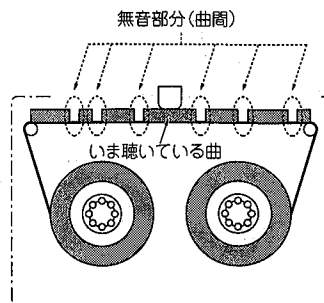
リモコン



DPSS(ダイレクト・プログラム・サーチ・システム)について

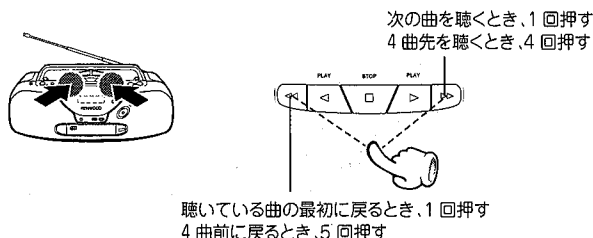
4秒以上の無音部分を「曲間」として探し出す機能で、次のような使いかたがあります。

1. 飛び越し選曲 : 途中の曲を飛び越して、目的の曲の最初から再生します。
最大10曲まで飛び越し選曲します。
2. 1曲リピート再生 : 同じ曲を10回繰り返して再生します。

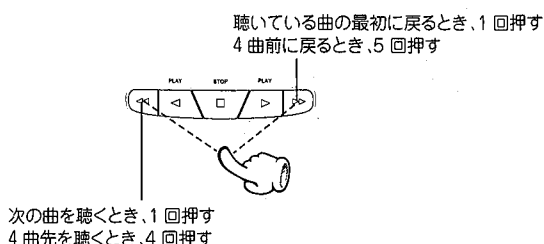


飛び越し選曲をするには

▶ 方向再生中(おもて面を聴いているとき)

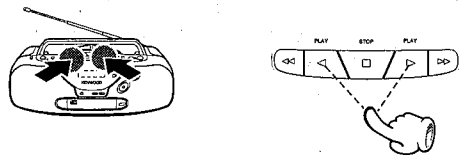


◀ 方向再生中(うら面を聴いているとき)



テープを聴く

1曲リピート再生



- 再生中に走行方向と同じ方向のキーを1回押します。
- リモコンでも操作できます。

- もう一度同じ方向のキーを押すと、1曲リピートは取り消され、再生中の曲から通常の再生に戻ります。
- □キーを押すと停止して、1曲リピートは取り消されます。

ご注意

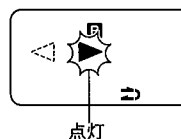


次のようなテープでは、DPSSが正常に動作しません。

- 会話、落語などで音声か4秒くらい途切れるテープ
- クラシック音楽など、1曲の中に、音量が極端に小さくなる場所のあるテープ
- 曲間に、大きな雑音などが録音されているテープ
- 曲間が4秒未満のテープ
- 小さな音で録音されたテープ
- クロスフェード録音(前曲の最後に、次曲が重なっていること)されたテープ

走行方向表示について

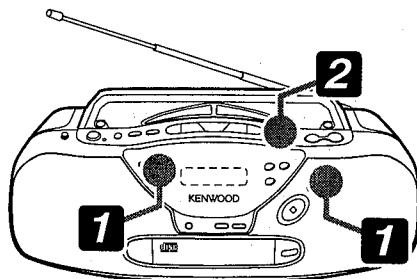
本機は電源オフの状態でも通常は最後にテープを止めたときの方向が記憶されます。(時計用電池がセットされていないと走行方向は▶方向にリセットされます。向きを変えるときは、テープを入れ、希望の方向のPLAYキーを押してから■キーを押します。)





本機は自動録音レベル設定を採用していますので、本機での録音レベル調整は要りません。

- メタルテープ、クロムテープの録音は出来ませんノーマルポジションテープ(TYPE 1)をお使いください。(Bデッキのみ録音できます。)



準備しましょう

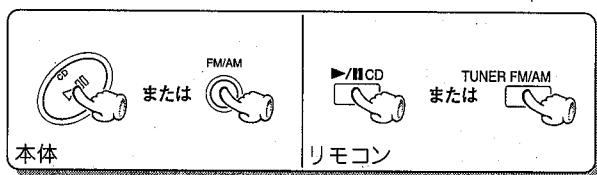
→ 23

- Bデッキに録音用テープをセットする。
- テープの進む向き(◀、▶)を選ぶ。
- "⇔"(両面録音)/"≡"(片面録音)を選ぶ。
- (CDプレーヤー部にディスクを入れる。)

テープの始めから録音するときは、10秒間ほど、リーダーテープ部を送ってから録音を始めてください。

通常の録音をする

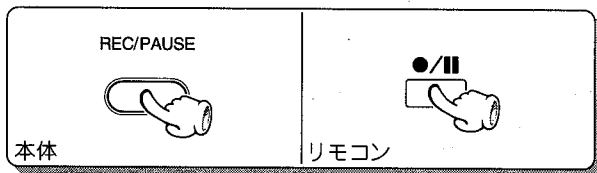
1 何を録音するか選ぶ



- CDを選んだときは、CDを停止、または一時停止させます。

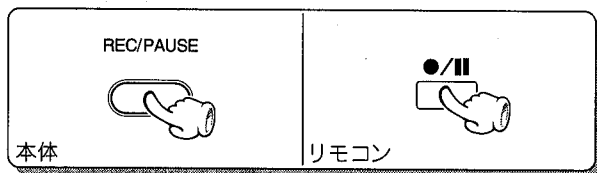
→ 18

2 録音一時停止にする



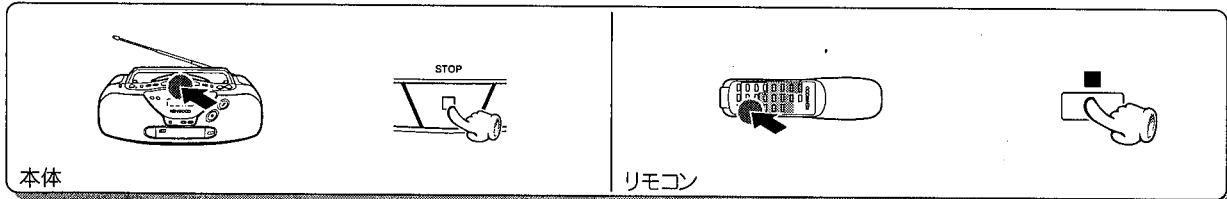
- REC/PAUSE(レック/ポーズ)キーを1回押すと、録音一時停止(ポーズ)状態になります。

3 録音を開始する



- CD録音の時は▷|||キーを押してCDをスタートさせます。
- 録音するタイミングに合わせてもう一度REC/PAUSEキーを押すと、録音が始まります。
- 録音中にREC/PAUSEキーを押すと、4秒間無音録音をして録音一時停止になります。
- 録音を再開するときにはもう一度REC/PAUSEキーを押します。

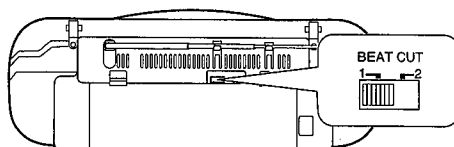
録音を終了するとき(ストップ)



ビートカットについて

●AM放送を録音するとき、ピーツという発振音が録音されることがあります。これは録音回路と、電波の相互作用によるものです。次のようにして切り換えると改善されます。

- ① 目的のAM放送を受信する。
- ② 録音ポーズ状態(REC/PAUSEキーを押す)にする。
- ③ 本体背面のBEAT CUT(ビートカット)スイッチを切り換えて発振音の少ない方にする。

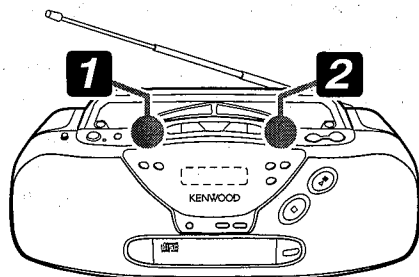
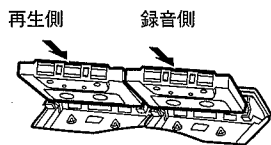




テープをコピーする(ダビング) (本体のみ)

26

- 準備しましょう**
- Aデッキに再生するテープ、Bデッキに録音用テープをセットする。
 - Bデッキのテープ方向(◀, ▶)を選ぶ。
 - "□" (両面録音) / "■" (片面録音) を選ぶ。



ダビング時のテープ走行について

テープの走行方向は....

- Aデッキはおもて面からスタートします。
- BデッキはPLAYキーで選んだ方向からスタートします。

テープの長さが違うときは....

- Aデッキ(再生デッキ)が先に終わると、Bデッキは早送りされ、両面録音の時はオートリバースして、反対面のダビングが始まります。
- Bデッキが先に終わるとAデッキの残りは録音されずに早送りされます。両面録音の時はオートリバースして、反対面のダビングが始まります。

1 ダビングのスピードを選ぶ

録音のしかた

REC MODE



- REC MODE (レックモード) キーを押すたびに次のように切り換わります。

- ① NORMAL (ノーマル) スピード
- ② HIGH (ハイ) スピード



- NORMAL スピードでは通常のテープ速度でダビングします。高音質のダビングができ、音を聴きながらダビングすることができます。

2 録音を開始する

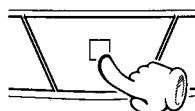
REC/PAUSE



- REC/PAUSE キーを1回押すとダビングが開始されます。

ダビングをやめるときは

STOP



- STOP キーを押すとダビングが中止されます。



CDを録音するときは次のようないろいろな方法で録音できます。お好みにあった録音方法でお楽しみください。

CDを聴きながら録音したい。



録音の準備をしてCDの▶⏮ キーを押すとテープの録音も一緒にスタートします。テープがオートリバースしている間でもCDは再生を続けます。曲の途中でリバースした場合は、録音した音は途切れます。

ノーマルシンクロ録音

CDの曲順に録音します。

プログラムシンクロ録音

CDをプログラムした順に録音します。

CDの曲順通り録音。テープがオートリバースする間CDは待っていてくれる。



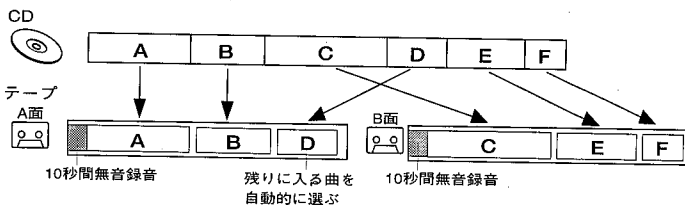
テープがオートリバースしている間、CDは一時停止しています。テープの最初と最後の部分にはリーダーテープ部があって録音できません。その分計算してタイミングを合わせてCDが動作します。曲の途中で反転しても曲の間に抜けないように、約10秒戻って、スタートします。

トラックシンクロ録音

テープの長さを無駄なく使うように曲を入れ替えて録音してくれる。



テープの録音時間を設定すると、A面から順に曲を振り分け、A面の最後の曲は、残り時間で一番効率の良い曲を自動的に選びます。リーダーテープ分も計算して動作します。



エディット録音

CDを聴きながら好きな曲があったら、その曲だけワンタッチで録音できる。

ワンタッチエディット録音

CDを再生中に気に入った曲があった場合、曲の途中でもREC MODEキーまたはリモコンのO.T.EDITキーを押せば、その曲の最初に戻って、録音が始まります。その曲だけ録音し、カセットデッキは停止、CDは一時停止になります。再度CDを聴きながら続きにワンタッチ録音する事ができます。



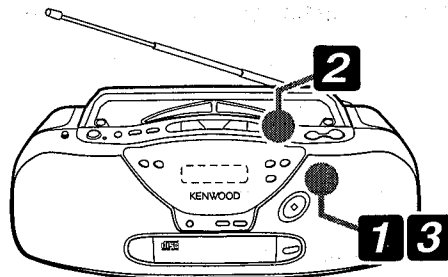
ノーマルシンクロ録音/プログラムシンクロ録音

準備しましょう

- Bデッキにカセットテープをセットする。
- テープの進む向き(◀, ▶)を選ぶ。
- "☺" (両面録音) / "☹" (片面録音) を選ぶ。
- CDプレーヤー部にディスクを入れる。

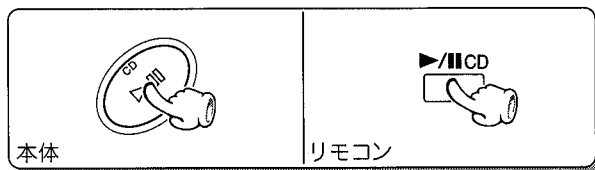
→ 23

テープの始めから録音するときは、10秒間ほど、リーダーテープ部を送ってから録音を始めてください。



CDシンクロ録音をする

1 入力をCDに切り換える



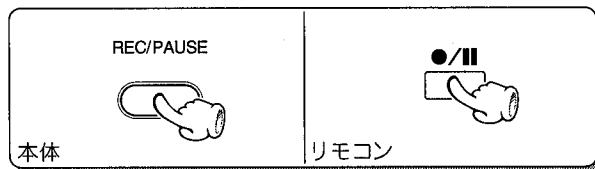
- CDを選んだあと、CDを停止、または一時停止させます。

→ 18

- プログラムシンクロ録音をするときはプログラム入力をします。

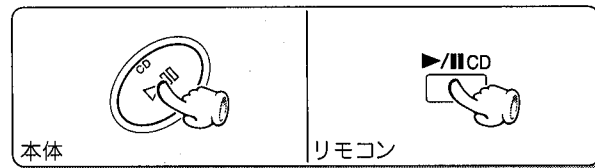
→ 20

2 録音一時停止にする



- REC/PAUSEキーを1回押すと録音一時停止になります。

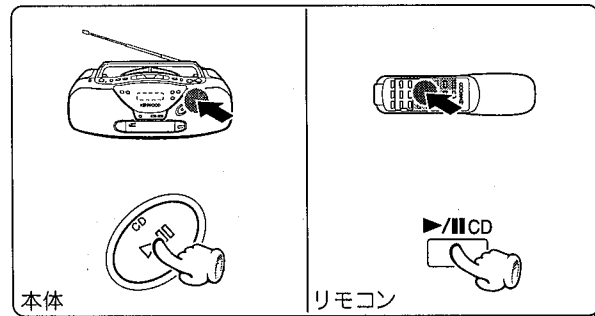
3 CDを再生する(録音開始)



- ▷||| キーを押すとCDの再生と同時に録音が始まります。
- CDが終了したときは、4秒間の無音録音をつくって録音も終了します。

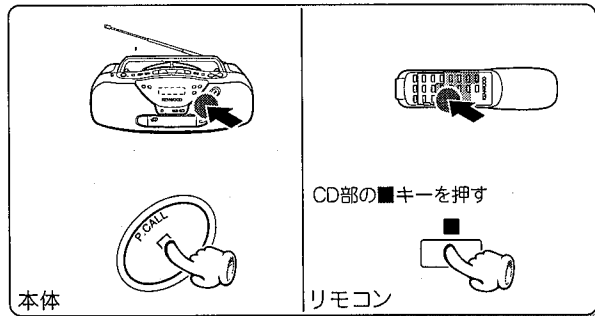
CDシンクロ録音

録音を一時停止するとき(ポーズ)



- CDが一時停止になり、テープは約4秒間の無音録音をつくって一時停止になります。
- 録音を再開するときはもう一度キーを押します。

録音を終了するとき(ストップ)



- CDプレーヤー部の停止キーを押すと、テープは約4秒間の無音録音をつくって停止します。



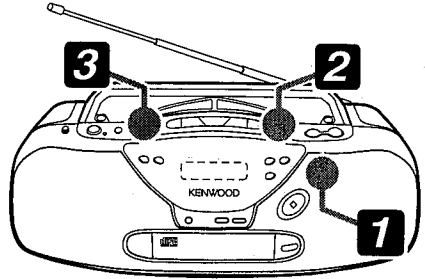
カセットデッキ部の停止キーで停止させたときは、CDプレーヤーはそのまま再生をつづけます。



準備しましょう

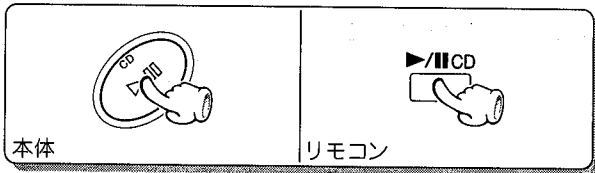
- Bデッキにカセットテープをセットする。
- テープの進む向き(◀, ▶)を選ぶ。
- "☺" (両面録音) / "☹" (片面録音) を選ぶ。
- CDプレーヤー部にディスクを入れる。

→ 23



トラックシンクロ録音

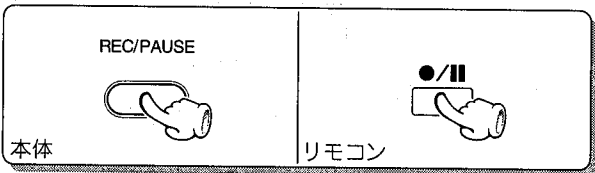
1 入力をCDに切り換える



- CDを選んだあと、CDを停止させます。

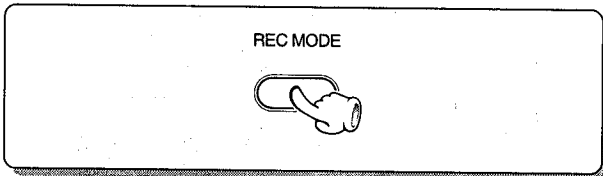
→ 18

2 録音一時停止にする



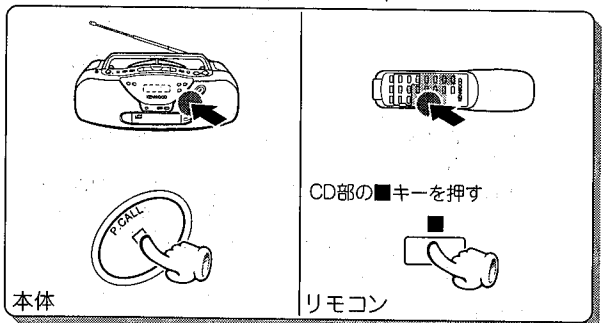
- REC/PAUSEキーを1回押すと録音一時停止になります。

3 REC MODEキーを押す



- 約10秒間無録音部分を作った後、CDの再生が始まります。
- CDが終了したときは、4秒間の無音録音をつかって録音も終了します。

録音を終了するとき(ストップ)



- CDプレーヤー部の停止キーを押すと、テープは約4秒間の無音録音をつかって停止します。

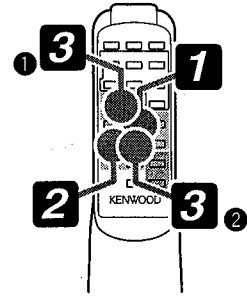


カセットデッキ部の停止キーで停止させたときは、CDプレーヤーはそのまま再生をつづけます。

**準備しましょう**

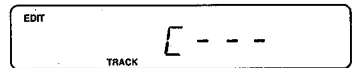
- Bデッキにカセットテープをセットする。
- テープの進む向き(◀, ▶)を選ぶ。
- "⏮" (両面録音) / "⏪" (片面録音) を選ぶ。
- CDプレーヤー部にディスクを入れる。

→ 23

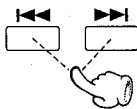
**編集録音(EDIT)をするには(設定はリモコンのみ)****1 入力をCDに切り換える**

- CDを選んだあと、CDを停止させます。

→ 18

2 エディットキーを押す

- プログラムモードの時はエディットモードになりません。
- 約8秒間次の操作をしないと、エディットモードが解除されます。

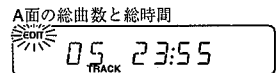
3 テープの長さをセットする**1 テープ時間を入力する**

- ◀◀キーを1回押すと …… “10”分単位で繰り上がります。押しつづけると …… 続けて繰り上がります。
- ▶▶キーを1回押すと …… “1”分単位で繰り上がります。押しつづけると …… 続けて繰り上がります。

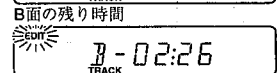
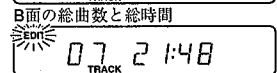
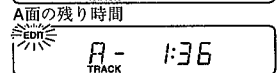
2 時間設定を終える

- テープの長さ(C-46,C-60などの時間)を入れます。
- 99(分)以上は入力できません。
- 時間が入力できたらENTERキーを押します。

- (1) 数字が入力されると“EDIT”表示が点灯から点滅に換わり自動的にエディットを開始します。



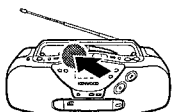
- (2) 数秒後にA面の残り時間、B面の残り時間の表示をしたあとCDが待機状態になります。



“01 00:00”を表示して待機



- 最大30曲までエディットできます。
- B面に入る曲が無かったときは“NO FILE”の表示をします。
- A面、B面共に入る曲がなかった場合には“NO FILE”の表示をしたあとエディットモードが解除されます。
- 入力をやり直す場合は□キーを2回押して始めからやり直してください。

4 本体のREC MODEキーを押す

REC MODE



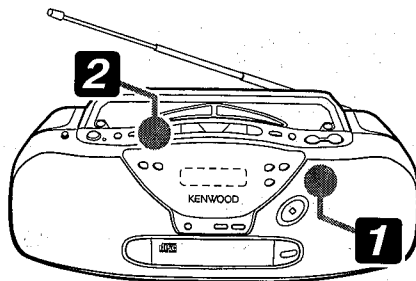
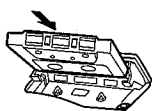
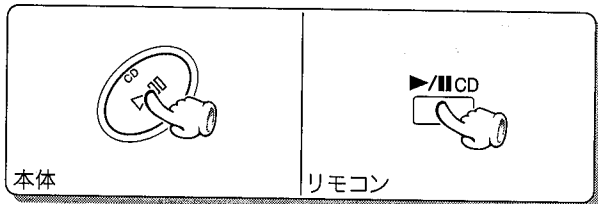
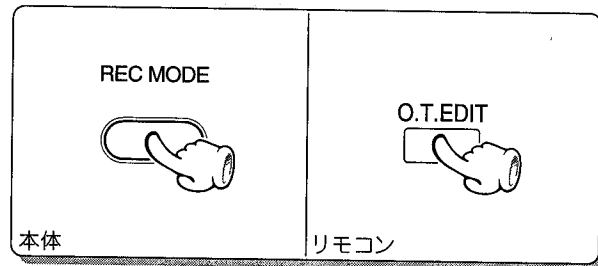
- REC MODEキーを押します。

- テープデッキの録音が始まり、CDの再生が始まります。
- A面の録音が終わるとCDはポーズ状態になり、デッキはテープの終わりまで送られて、B面に反転します。
- B面の始めを約10秒間送ったあとB面の録音が始まります。

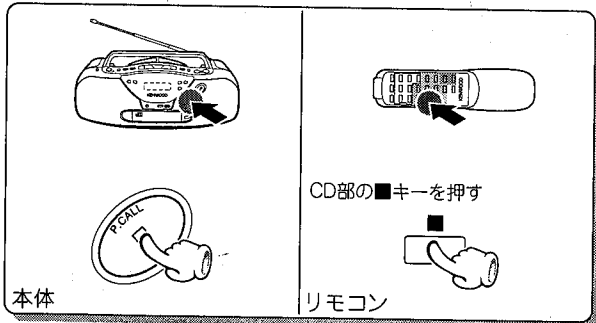
**始めに録音の準備をしておきます**

→ 23

→ 25

**CDのワンタッチ録音(O.T.EDIT)をするには****1** CDを再生する**2** 録音したい曲でワンタッチ録音をする

- 録音したい曲が再生されたら、本体のREC/MODEキー、またはリモコンのO.T.EDITキーを押します。
- 再生中の曲の始めから録音を開始します。
- その曲の録音が終了すると、約4秒間の無録音部分を作り、カセットデッキ部は停止します。CDは一時停止状態になります。
- 同じように操作することにより、テープに続けて録音することができます。

録音を途中で止めるときは

- CD部の停止キー(□キー)を押すとCDプレーヤーとカセットデッキ部の両方が停止します。
- カセットデッキ部の停止キー(□キー)を押すと、カセットデッキ部は停止して、CDプレーヤーは曲の頭で一時停止状態になります。



音質を変えてたのしむ

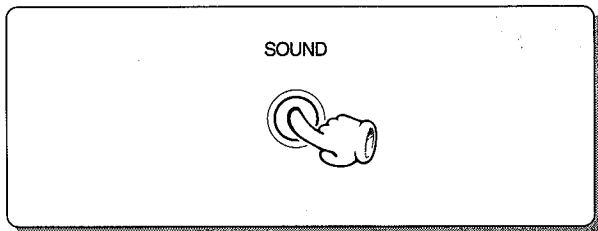
SOUND(サウンド)機能

本機にはヘビーでダイナミックなサウンドから、ノーマル、クリアーなサウンドまで、5段階に切り換えて楽しむことができるSOUND機能を備えています。

S. SOUND(S.サウンド)機能

S. SOUNDボタンを押すと、S.サウンドスピーカーが働き、音の広がりが増します。

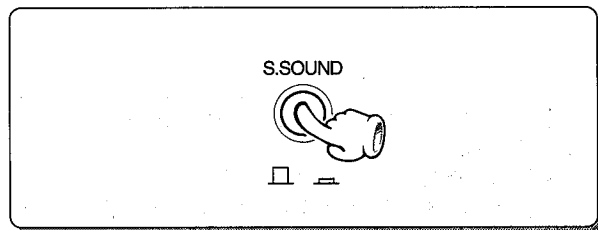
SOUND機能を使うには




• 押すたびに切り換わります。

- ① HEAVY(ヘビー)
- ② VOCAL(ボーカル)
- ③ CLEAR(クリアー)
- ④ SCALE(スケール)
- ⑤ ノーマル(解除)

S. SOUND機能を使うには

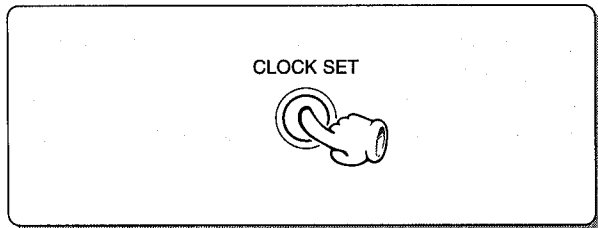


- 押した状態()でS.サウンドスピーカーから音が出るようになります。音の広がりが増します。
- 解除するときにはもう一度押して、ボタンが出た状態にします。

表示内容を切り換えるには

クロックセット

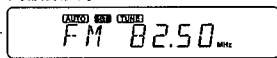
CLOCK SETキーを押す



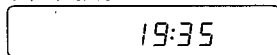
- CLOCK SETキーを1回押すたびにつぎのように切り換わります。(2秒以上押し続けると現在時刻の設定モードになります。)

放送受信中

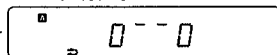
周波数表示



現在時刻表示

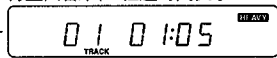


テープ走行表示

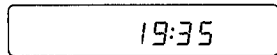


CD再生中

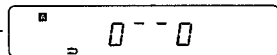
再生曲番/曲の経過時間表示



現在時刻表示

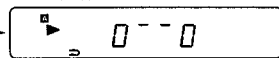


テープ走行表示

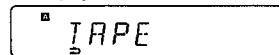


テープ再生中

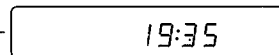
テープ走行表示



TAPE表示



現在時刻表示





通常のタイマー予約に加えて、その他の3種類の便利なタイマーが用意されています。目的に合わせて使い分けてください。

通常予約タイマー

ON時刻に電源が入り、OFF時刻に電源が切れるように、放送、テープ、CDの再生を行います。

録音予約タイマー

ON時刻に電源が入り、放送の録音をして、OFF時刻に電源が切れます。番組のエアーチェックに便利です。

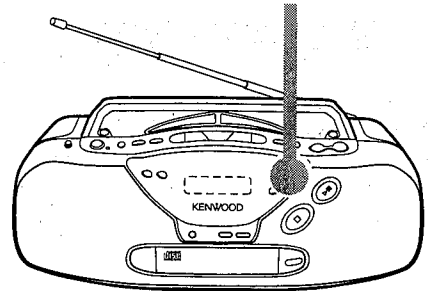
AIタイマー (お目覚めタイマー)

予約タイマーに、目覚まし機能を加えたタイマーです。ON時刻と10分以内のOFF時刻も設定できます。

AI TIMER :

電源が入ると、CD、テープ、などの再生が始まります。音量がだんだん大きくなり、前もって設定してあった音量まで上がります。10分経つと電源が自動的に切れます。(10分以内でOFF時刻の設定もできます。)

押すたびにタイマーのモードが切り換わります。



おやすみタイマー

- 設定した時間が過ぎると、自動的に電源が切れます。



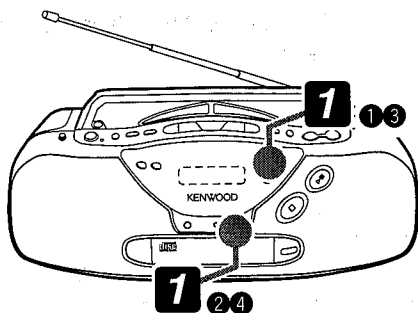
SLEEP





時刻合わせを済ませてから、タイマーを設定してください。


タイマーを使うときのON/OFF時刻の設定を行います。
時刻の設定は、TIMER SETキーとTUNING UP/DOWNキーを交互に使って設定します。



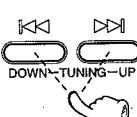
ON/OFF時刻の設定

1 ON時刻の設定をする


1 TIMER SETキーを押す



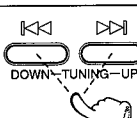
2 「時」の桁の調整をする



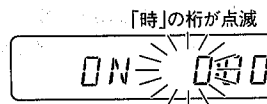
3 TIMER SETキーを押す



4 「分」の桁を調整する

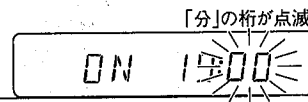


• TIMER SETキーを押すとON時刻の表示になり「時」の桁が点滅します。



- UPキーを1回押すと「1時間」繰り上がります。押し続けると、連続して繰り上がります。
- DOWNキーを1回押すと「1時間」繰り下がります。押し続けると、連続して繰り下がります。

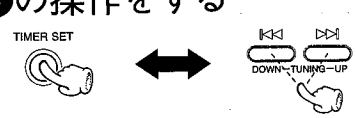
- 「時」の桁の調整が終わったらTIMER SETキーを押します。
- 「分」の桁が点滅します。



- UPキーを1回押すと「1分」繰り上がります。押し続けると、連続して繰り上がります。
- DOWNキーを1回押すと「1分」繰り下がります。押し続けると、連続して繰り下がります。

2 OFF時刻の設定をする

1～**4**の操作をする




• TIMER SETキーを押すとOFF時刻の表示になります。



3 時刻の設定を完了する

TIMER SET



- 時刻の調整が終わったらTIMER SETキーを押します。
- 約2秒間OFF時刻の表示をして、もとの表示に戻ります。



ON時刻とOFF時刻を同じにすると、OFF時刻は自動的にON時刻の1分後に設定されます。

ON/OFF時刻の確認するには

- TIMER SETキーを押します。
- 押すごとに表示が右のように切り換わります。
- 確認中は、◀◀キー、▶▶キーを押さないでください。

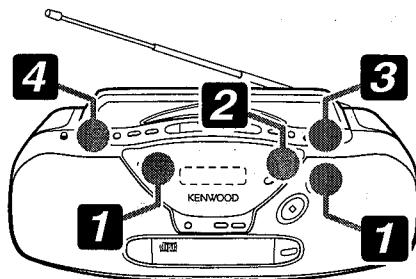
- ① ON時刻の「時」の桁が点滅
- ② ON時刻の「分」の桁が点滅
- ③ OFF時刻の「時」の桁が点滅
- ④ OFF時刻の「分」の桁が点滅
- ⑤ OFF時刻が点灯した後通常表示に戻る



- タイマー再生はON/OFF時刻をセットしただけでは働きません。必ずAI TIMER キーでタイマーモードを選んでください。

タイマーを使う準備をしましょう

- 34
- 電源を入れる。
 - ON/OFF時刻の設定をする。



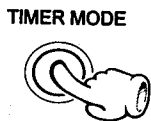
タイマーで再生を始める

1 聴きたい入力を選ぶ



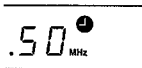
- タイマーで再生を始めるときの入力を選びます。
 - CDのときはプログラムをしてタイマーで好きな順に再生を始めることができます。
- 20

2 タイマーモードを選ぶ

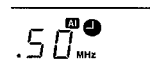


- TIMER MODE キーを押すたびに次のように切り換わります。

- ① 通常予約タイマー
- ② 録音予約タイマー
- ③ AIタイマー
- ④ 解除

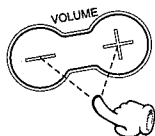


通常予約タイマー表示



AIタイマー表示

3 音量を設定する



- タイマーで電源が入った時の聴きたい音量をあらかじめセットしておきます。
- AIタイマーを選んだときは、電源が入ると音量が4段階に上がります。

4 電源を切る

POWER ON/STANDBY



- 設定したON時刻になると電源が入りCDや、テープの再生が始まります。
- OFF時刻がくると、自動的に電源が切れます。CD再生のときは、CDが終わると約2分後に電源が切れます。
- AI タイマーを選んだときは、OFF時刻にならなくても10分後に電源が切れます。

タイマーを使う



CDを選んでいてもCDがセットされていないと、テープを再生します。テープも入っていない場合はチューナーに切り換わります。



時刻合わせを済ませてから、タイマーを設定してください。

• 録音予約タイマーは、チューナー録音のみ動作します。

タイマーを使う準備をしましょう



電源を入れる。
ON/OFF時刻の設定をする。

タイマーで放送を録音する(録音予約タイマー)

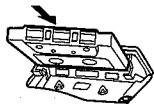
1 録音の準備をする

① 放送を受信する

FM/AM



② 録音テープをBデッキにセットする



- 録音したい放送局を選びます。
- 録音予約タイマーは、チューナー録音のみ動作します。

2 録音予約タイマーモードにする

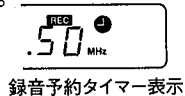
TIMER MODE



- 録音する面を選びます。

• TIMER MODEキーを2回押します。

- ① 通常予約タイマー
- ② 録音予約タイマー
- ③ AIタイマー
- ④ 解除



録音予約タイマー表示

3 電源を切る

POWER ON/STANDBY



- 設定した時間になると録音を開始します。
- OFF時刻になると、自動的に電源が切れます。

【注意】

録音タイマーは、一度設定すると毎日予約した時間に録音できます。録音タイマーを使用しないときは、タイマーモードを解除しておいてください。



タイマーを使う

おやすみタイマー予約(スリープタイマー)

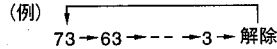
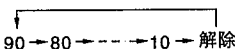
SLEEPキーを押す(リモコンのみ)



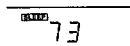
SLEEP



- 1回押すごとに10分ずつ減っていきます。90分まで設定できます。
- スリープをセットしてあるとき、キーを押すと、残り時間が10分ずつ減っていきます。



スリープ時間設定中の表示



スリープ動作中の表示

• セットした時間が経つと、自動的に電源がOFFになります。

解除するには

電源をOFFにするか、またはSLEEPキーを解除になるまで押します。

故障と思われる症状ですが....

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

リモコン部

症状	原因	処置
リモコンで操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●電池切れ ●操作する位置が遠すぎる。角度がずれている。または障害物がある。 ●再生しようとする機器にテープ、CDが入っていない。 ●録音中のカセットデッキで再生しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい電池に入れ換える。 → 9 ●操作範囲内で操作する。 ●再生しようとする機器に、テープ、CDを入れる。 ●録音が終わるまで待つ。

アンプ、チューナー部、スピーカー部

症状	原因	処置
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●音量を最小にしている。 ●ヘッドホンプラグが差し込まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●適当な音量にする。 ●ヘッドホンプラグを抜く。 → 15
時刻表示が、ある時間で止ったまま点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> ●停電があった。(時計用電池が入って無い時) ●電源プラグを一度抜いた。(時計用電池が入って無い時) 	<ul style="list-style-type: none"> ●現在時刻をもう一度合わせる。 ●現在時刻をもう一度合わせる。 → 14
タイマーが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●現在時刻を合わせていない。 ●タイマーのON時刻とOFF時刻を設定していない。 ●タイマーモードをセットしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●現在時刻をもう一度合わせる。 → 14 ●タイマーのON/OFF時刻を設定する。 → 34 ●タイマーモードをセットする。 → 35
放送局が受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ロッドアンテナを伸ばしていない。(FM) ●本体の向きが放送局に合っていない。(AM) ●放送バンドが合っていない。 ●受信したい放送局の周波数に合っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナを伸ばして回転させてみる。 ●本体の向きを変えてみる。 ●放送バンドを合わせる。 ●受信したい放送局の周波数に合せる。 → 15
雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> ●自動車のイグニッションノイズ。 ●電気器具の影響によるもの。 ●テレビが近くにある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●外部アンテナを道路から離して設置する。 ●電気器具の電源を切ってみる。 ●テレビから離す。
プリセットしたあと、数字キーを押しても受信できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●プリセットした放送局が、受信できない周波数である。 ●電源コンセントを抜いていたため、メモリーが消えてしまった。(時計用乾電池が入って無い時) 	<ul style="list-style-type: none"> ●受信できる周波数の放送局をプリセットする。 ●もう一度プリセットする。 → 16

カセットデッキ部

症状	原因	処置
再生キーを押しても音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●ヘッドが汚れている。 ●巻取りリムラがありテープが重くなっている。 ●未録音テープを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●“ヘッドのお手入れ”を見てヘッドを清掃する。 → 8 ●テープを交換してみる。 ●録音済みテープを使う。
操作キーを押しても作動しない	<ul style="list-style-type: none"> ●テープが確実に装着されていない。 ●テープが入っていない。 ●巻取りリムラがあり、テープが重くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●テープを確実に装着する。 ●テープを入れる。 ●テープを交換してみる。
DPSSが誤動作する。	<ul style="list-style-type: none"> ●曲と曲の間が短いなど、DPSSに不適当なテープを使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●DPSSについてのご注意をお読みください。 → 24
CDの編集録音が作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●デッキ部に録音できるテープが入っていない。 ●CDプレーヤー部にディスクが入っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●デッキ部に録音できるテープを入れ、操作をやり直す。 ●ディスクを入れ、操作をやり直す。

故障と思われる症状ですが

症状	原因	処置
音がかすれたり、高音が出なくなる。	<ul style="list-style-type: none"> • ヘッドが汚れている。 • テープが伸びたり、ワカメ状になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> • “ヘッドのお手入れ”を見てヘッドを清掃する。 → 8 • テープを交換する。
雑音が多い	<ul style="list-style-type: none"> • ヘッドが磁気を帯びている。 • 外部の雑音を誘導している。 • DOLBY NRをONで録音したテープを、本機で再生しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> • “ヘッドのお手入れ”を見て、消磁する。 → 8 • 照明器具、テレビなどから離す。 • DOLBY NR録音したテープは正常な音質で再生できません。
音がふるえる	<ul style="list-style-type: none"> • キャプスタン、ピンチローラーが汚れている。 • テープに巻き取りムラがある。 	<ul style="list-style-type: none"> • “ヘッドのお手入れ”を見て、ヘッドを清掃する。 → 8 • テープの端から端までを通して早送り、巻き戻し、または再生をして巻き直す。
録音キーを押しても録音できない。	<ul style="list-style-type: none"> • カセットテープのツメが折れている。 • テープが確実に装着されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> • ツメの折れていないテープを使う、または穴をふさぐ。 → 8 • テープを確実に装着する。

CDプレーヤー部

症状	原因	処置
ディスクを入れても再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> • ディスクが裏返しに入っている。 • ディスクがずれている。 • ディスクがひどく汚れている。 • ディスクに傷がついている。 • 光学レンズに露がついている。 	<ul style="list-style-type: none"> • ラベル面を上にして、正しく入れる。 → 8 • ディスクを正しく入れ直す。 • “ディスク取扱上のご注意”を参照し、ディスクを清掃する。 → 8 • ディスクを取り換える。 • “露付きにご注意”を参照し、露を蒸発させる。 → 6
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> • ディスクが入っていない。 • 再生状態になっていない。 • ディスクがひどく汚れている。 • ディスクに傷がついている。 	<ul style="list-style-type: none"> • ディスクを入れる。 • ▶/■キーを押す。 • “ディスク取扱上のご注意”を参照し、ディスクを清掃する。 → 8 • ディスクを取り換える。
音とびがする。	<ul style="list-style-type: none"> • ディスクが汚れている。 • ディスクに傷がついている。 • 本機に振動が加わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> • “ディスク取扱上のご注意”を参照し、ディスクを清掃する。 → 8 • ディスクを取り換える。 • 振動のない場所に設置する。

ご注意



1. 本システムではマイコンを使用していますので、外部からの雑音や、妨害ノイズにより、正常に動作しないことがあります。そのような場合、電源コードを一度抜いて電池をすべて取り出した後、あらためて電池を入れ直してご使用ください。
2. 接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を变形させることがあります。
3. テープの種類によっては、自動的にテープが止まったときに”キュー”という音がすることがあります。これはテープ保護機構が働いたため、故障ではありません。

定格

チューナー部

FM受信周波数範囲 76.0MHz~108MHz
AM受信周波数範囲 522kHz~1,629kHz

アンプ部

実用最大出力 4.8W + 4.8W (EIAJ)
周波数特性 20Hz~20kHz

CDプレーヤー部

読み取り方式 非接触光学式読み取り (半導体レーザー)
周波数帯域 20Hz~20kHz
ワウ・フラッター (EIAJ) 測定限界以下

カセットデッキ部

トラック方式 4トラック2チャンネルステレオ
録音方式 交流バイアス
ヘッド
再生用 1
録音/再生用 1
消去用 1
周波数特性 (EIAJ) 50Hz~14,000Hz

スピーカー部

型式 8cmコーン型 5Ω×2
5cmコーン型 8Ω×2

総合

電源

交流 AC100V, 50Hz/60Hz
直流 DC12V (単一乾電池×8本)

電池持続時間

使用乾電池	CD再生時 (EIAJ)	テープ再生時 (EIAJ)	チューナー録音時 (EIAJ)
マンガン乾電池	4時間	7時間30分	6時間
ニューアルカリ乾電池	10時間	18時間30分	15時間

定格消費電力 (電気用品取締法に基づく表示) 26W
最大外形寸法 (幅)430×(高さ)165.5×(奥行)235(mm)
重量 (本体) 5kg
(乾電池含まず)

これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。

保証について

保証書

製品には保証書が別途添付されています。所定事項(お買い上げ日、販売店名など)が記載されていること、ならびに記載の内容を必ずご確認のうえ、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

修理をご依頼になるときは

「故障と思われる症状ですが...」を参照してお調べいただき、なお異常があるときは、製品の電源をOFFにし、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスステーション、営業所にご連絡ください。

(別紙“全国サービス網”をご参照ください。)

保証期間内の場合は...

保証書の記載内容に従い、お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスステーション、営業所が無料修理いたします。修理の際は保証書をご提示ください。



- 電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎている場合は...

お買い上げの販売店、またはケンウッドのサービスステーション、営業所にご相談ください。修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理します。



- 補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、6年間です。
- この期間は、通産省の指導によるものです。
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。



愛情点検 このような症状はありませんか?

ご使用中止!

電源をONにしても音が出ない。
音が時々消えることがある。
変なおいがしたり、煙が出たりする。
電源をOFFにしても音が消えない。
内部に水や異物が入った。

故障や事故防止のため、電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜きます。
必ず販売店またはケンウッドのサービスステーション、営業所までご連絡ください。

持込修理と出張修理

「持込修理」、「出張修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。



- 修理のために、セットを販売店やケンウッドのサービスステーション、営業所までお持ちになるときは、お買い上げのセット全部をお持ちください。(スピーカーは除きます)
- セットを修理に持ち込まれる際は、輸送中にキズが付くのを防ぐため、必ず包装してください。(お買い上げ時の梱包材の再使用が理想的です)

修理料金のしくみ(有料修理の場合、これらの費用が必要です。)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

商品に関するお問い合わせは

お客様相談室 東京: 電話 (03) 3477-5335 (受付時間: AM9:30 ~ PM5:30)
大阪: 電話 (06) 357-5335 (受付時間: AM9:45 ~ PM6:00)
(土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます。)

アフターサービスのお問い合わせは

お買い上げの販売店、またはケンウッド サービスステーション、営業所にご連絡ください。
(別紙“全国サービス網”をご参照ください。)

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

東京都渋谷区道玄坂1-14-6 〒150

2435-920-0-10